京城日報

十三日夕刊

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

◎黄興の首三百萬圓

黄興を暗殺したる者に對し北京政府は三百萬圓の懸賞を附する旨飛電ありたり（東京電報）

◎陳將軍再び退職を迫る

四川將軍陳宦氏は更に袁總統の退職を迫り一週間以内に自決せざる時は蔡鍔氏と連合し親しく兵を率ゐて湖北の荊州、襄陽方面を攻擊すべしと云へり（上海特電）

◎北伐畫策と滿蒙革命

南方獨立軍の北伐計畫は其準備行動たる山東及び滿洲及び蒙古に於ける革命に成功し三面挾擊の形勢を作らざる限り望みなしと觀測さる（東京電報）

◎戒嚴撤回

一旦湖南府に戒嚴令を布きたる支那官憲は帝國政府の抗議に依り直に撤回したり（湖南電報）

◎革命打破魂膽か

段、馮、張等の提議せる南京に各省代表者を會し袁總統退職及び後任者決定等時局收拾策を講ずべしとの裏面には段馮等と袁總統と氣脈を通じ相一致して革命を打破する魂膽に出でたる消息漸次明白となり來れりと（東京電報）

◎黄興姿を晦す

黄興は十三日朝富士山下の某家に姿を晦ましたり（東京電報）

◎日本義勇兵の表彰　一先づ解散す可し

加奈太陸軍當局は日本義勇兵の誠忠を表彰する爲十一日午後三時晩香坡軍司令官ダスクスチユーアート大佐をしてコルドバーホールにて義勇兵一同に記念章を交附せしめたり義勇兵は斯て一先づ解散することゝなれり（シャトル電報）

◎愛蘭總督　愛蘭人の希望

ダービー卿は愛蘭總督の後任に擬せられ居るも愛蘭人は愛蘭事務大臣に自由黨出身者を任命し以て權衡を保つに非ざれば統一黨員の愛蘭總督任命を望まず（倫敦電報）

◎皇后陛下行啓

皇后陛下には十三日午後一時半宮城御出門慈惠會病院に行啓在らせられ患者一同に對し御菓子料を御下賜ありたり其れより陛下には芝離宮へ御立寄相成り還啓在らせらる（東京電報）

◎朝鮮離宮の位置

石原宮内次官の歸任談によれば朝鮮離宮は京城、龍山總督官邸及び平壤兩地の内孰れか猶未定なるも行幸中政治を御親裁遊ばさるゝに御都合よき位置に御治定相成る事となるべしと（東京電報）

◎經濟調査部會

經濟調査會にては十三日部會を開き關稅問題に關する調査研究をなせり（東京電報）

◎三社船舶新造

日本郵船、東洋汽船、大阪商船の三會社は共に海運界の好況と船腹不足の現狀に鑑み更に船舶を新造して發展を企圖するに決定せり（東京電報）

◎郵船配當二割

日本郵船會社に於ける增配問題は株主及び會社側の意志疏通し今期配當額を二割と決定せり（東京電報）

◎笠置拔錨

練習艦笠置は十三日午前八時釜山港拔錨鎭海灣に向ふ而して同地にて艦砲射擊練習を行ふ筈なりと（釜山特電）

◎總督巡視日程

南鮮地方巡視中なる寺内總督一行は十三日午前中淸州を視察し餐食後同地を出發して夕刻公州著、道長官舍に一泊の上十四日正午まで諸官衙を巡視し零時同地發、小井里より臨時列車に搭乘夕刻南大門驛歸著の豫定なり

◎寺内總督寄贈

南鮮巡視の途次來邱したる寺内總督は十一日府内高齢者に對し金九十七圓二十錢極貧者に二十一圓公私立學校生徒奬學金に二百五十圓二十錢計三百六十八圓二十錢其他道、府廳員憲兵警察員に酒肴料として金二百圓寄贈せり（大邱）

◎歸還軍隊通過

平壤駐剳第三十一旅團司令部及び第四十六聯隊本部は滿期交代伊藤旅團長、村井聯隊長以下十三日午前七時四十分龍山著、同九時三十三分發元山に向へり龍山驛には軍司令部、第十九師團將校其他官民有志、愛國婦人會幹部等迎送したり

◎歸還部隊と元山

交代歸還の爲め其後元山を通過すべき軍隊は十三日に於て步兵六十九聯隊第三大隊中一中隊を除ける外將校二十三名下士卒四百三十五名馬匹四十三頭にして同日午後一時元山驛へ軍用列車にて到著一泊の上翌十四日朝第三琴平丸にて出帆すべく步兵第三十一旅團司令部並に步兵第六十九聯隊本部同第二大隊の將校四十五名下士卒七百八十八名及び馬匹二十二頭は十四日午後四時四十五分著の列車にて二回に來著の上一泊翌十五日出帆の臺北丸にて元山發歸還の途に就く筈なり（元山）

◎井口軍司令官

駐剳軍々司令官井口陸軍中將は既報の如く十五日午前八時四十分龍山發南鮮部隊視察の途に上り來月六日歸任の豫定なりと

◎露國商省代表

露國商工省代表者ミレー氏一行は十八日長春發滿鮮直通列車にて十九日京城通過東上の筈なり

◎朝鮮小口保險

朝鮮總督府より内閣法制局に朝鮮小口保險官營案の廻附されある事は秋山參事官の談にも見ゆしが遞信當局の語る處を聞くに朝鮮の小口保險法施行は法制局の審議さへ終了すれば制令を以て之れを發布するを得其の議會の協賛を要するは會計法のみなり而して其の實施期は内地に於ける實施後の成績を視彼此參酌して決定するを適好なりと思惟するが小口保險法案に附隨すべき會計法は多分今冬の議會に提出するの運に至らんと

◎日露電信故障

日露連絡電信線たる京城浦鹽線は十六日朝より故障を生じ通信不可能となりし爲め京城通過向露電報は全部長崎に逆り大北電信會社の浦鹽海底線により送信しつゝあり

◎通信狀況視察

矢野遞信局通信課長は十八日頃より向ふ約十日間の豫定にて春川原州忠州方面に於ける通信狀況視察の爲め出張する由

◎河村檢事出張

京城地方法院檢事河村静水氏は檢事正代理として廿二日より江原道春川に於て開會の同道各隊署長會議臨席の爲め往復五日間の豫定を以て出張すべしと

◎商議定期總會召集

京城商業會議所は既報の如く來る十七日午後二時より臨時總會を開會することゝなり十三日夫々通知を發したるが議案は大正四年度決算のみなりと

◎御大典記念會堂

京城美以教會にては曩に御大典記念教會堂建設を計畫し其他設計を工學士中村與資平氏に囑托中の處此程漸く成り目下元の旭町名古屋城跡に土工々事中にして本月末日迄に定礎式を行ふ可しと尙ほ同會堂は敷地二百八十九坪の内七十坪の建坪に間口七間奥行十間平屋建（地下室使用）の最新式建築にして工費八千三百三十五圓外に教師館に二千圓を投ずべしと工費の内ハリス博士の御大典及び退職記念としての寄附金二千圓を米國傳道會社の補助金三千圓と除きたる外は同教會の信徒五十二戶の者が明治四十年より十箇年の計畫を立て募集したる建築基金五千圓を始め更に大正二年より三年末迄の間に於て募集したる寄附金とを合したるものにて今回又別に京畿道警務部より三千圓の募金許可を與へられたり以上の寄附金額により總豫算額一萬三千八百圓に達する豫定にて建築は全部煉瓦建にして禮拜堂の外に地下室は日曜學校に用ひ夜間は定期集會以外に英語夜學校、外國人の日本語教授等にも用ふる豫定にて本年十月三十一日落成の筈なりと

◎校舍新築設計内容　京城

學校組合の本年度土木事業中に含まれたる龍山小學校增築及び小學校新築設計費は三百五十圓なれども其增築並に新築の豫算は別に學校組合會を召集し追加豫算を提出して承認を求むる順序なるが其總額は約三萬六千圓にして内二萬六千圓を新設校の建築費に一萬圓を龍山小學校の增築費に充當するものなり新築校舍は其敷地未だ決定せざれども何にせよ前記豫算に於ては本館、便所、小使室等を設け來春新學期就學兒童の收容に充つるも別館及び講堂其他は繼續事業として次年度の豫算に計上するものなり尙ほ龍山小學校は單に四教室の增築をなすに過ぎず本年十月末に落成の見込なりと

◎宗社黨の兩首領

帝政の失敗共和の回復南北の確執未だ解けずして支那の風雲今正に急なり此際在靑島の恭親王と在旅順の肅親王とは宗社黨の首領と目せらるゝものなるが近日互に頻繁に人を派して何事か密議しつゝありと聞くは此機會に乘じて淸朝再興の旗を擧ぐる事或は近からん寫眞右は恭親王にして左は肅親王なり（北京）

◎判任見習試驗成績

總督府にては判任官見習筆記試驗の合格者七十餘名に對し過般口頭試驗を執行し其成績は目下試驗委員の手にて詮衡中なるが受驗の成績は比較的良好にして受驗者七十餘名中落第者は數名に過ぎざるもの〻如し

◎愛媛縣人會

在京愛媛縣人會は十二日夜千代本に其の集會を開き兼ねて勝田總裁の歡迎會を開きしが勝田矢野岡大久保神野各有力官民を始め五十餘名の來會あり盛んなりしと

◎教育倶樂部講演會　京城

府にては十三日午後二時より西大門教育倶樂部に於て各公立普通學校鮮人教員のため講演會を開き松永長官の講演ありたり

◎鐵道靑年會講演會

鐵道靑年會にては十三日午後七時半より鐵道倶樂部にて講演會を催す演題及び講演者左の如し

支那時局の回顧　布施知足
金剛山に就て（幻燈）　安藤又三郎

◎革命黨員の東上

豫て仁川滯在中の支那革命黨員李子萬は十二日午前七時十五分仁川驛發の列車に搭乘して急遽東京に向ひ出發したるが見送りの人に對しても口を噤んで一切何事も語らず心中何事か期する處あるが如く追に其色眉宇に現はれしは爭へざる處にして李の東上は時節柄世人の注目を惹けり

平壤

▲工藤長官歸任　工藤本道長官は龍岡郡及び江西郡の管内視察として出張中の處十三日歸任したり▲派遣隊一部歸還　富山の本隊に歸還す可き朝鮮派遣隊第六十九聯隊第三大隊は隊長以上兵卒全員十二日午後四時發列車にて京城元山を經由出發せしが此日見送者は七十七聯隊將校平安南道警務部員府協議會員在鄕軍人赤愛國婦人其他多數の官民なりき▲憲兵補助員配置　巡査補及び補助員の教習は五月十五日卒業式擧行の筈なるが卒業生の配置は左の如く決定せりと

▲憲兵補助員　平壤分隊一一、安州分隊一六、成川分隊一一、德川分隊一六、鎭南浦分隊七▲巡査補　平壤警察署九、鎭南浦署四、陽德署一、中和署一

▲私立校教員試驗　平安南道廳に於ては五月八日より十日迄三日間教員試驗を施行せしが受驗者は五十名にして試驗の成績は概して良好なるも目下精密に調査中なりと因に昨年迄の受驗者中には僥倖的志願者もありし由なるも本年は宗教家の受驗者多く年齡等も概して三十歲前後の者多數を占め教育者としては適當なる人物多しと▲柔道教師囑托　平壤中學校にては從來柔道教師あらざりしが今回平壤府書記杉浦齊氏に囑托して毎週二回柔道の教授をなす可しと▲講演會開會　平壤府居住宗教家の組織せる教友會の主催にて第六回通俗講演會を來る十三日午後八時より黄金町演武場にて開く因に講師及び演題は左記の通り

人間の退化及び退化機關　醫學士田中一郎
文明と虚僞　地方法院檢事森雅太郎氏
運根鈍の話　平壤中學校長赤木萬次郎氏

元山

▲昨今の漁況　元山近海に於ては昨今漁船の出動逐日頻繁となりつゝあるが目下主なる漁獲物は「ひらめ」にして鯛及び鯖の盛漁期に入るは本月下旬以後なるべく輸送の便利になれると昨年に於ける好漁とに原因し鯛鯖の漁撈に從事するもの〻增加は前年に比し著しきものあり尙ほ客月中鰊漁は近來稀有の好況にして鰊又相當の漁獲を見たるが如し▲驛發送貨物　客月中元山驛發送貨物總量は四千八百五十五噸牛馬二十七頭にして前年同期の一千四百五噸に比し著しき增加を示せるは目下工事中なる咸鏡線工事材料の多かりしに原因す而して發送貨物中主要なるものは明太（五八六噸）鰊（一四〇五噸）等なる由▲鑛業熱　元山府附近に於ける鑛業熱は一時非常の高度に達したるが如しと雖も聲のみ徒らに大にして其採掘をなせるものあるを聞かず且重石鑛の如きは今や俄然下火となりたる模樣にて一つも特記すべきものを認めず▲幼稚園補助金　豫て學校組合に請願中なりし元山私立幼稚園大正五年度經費補助金下附の件は審議の結果九、十二月の二期に分ち合計三百六十圓を下附せらるべく決定せり

忠州より大邱

十二日列車中　中島生

▲寺内總督の地方巡視に伴隨して忠州に一泊、大邱に一泊、本日は淸州に向ふ途上に在り。大邱より芙江まで臨時列車中に小閑を得、疎信を呈し申候。▲最初の一日即ち十日は單獨忠州に到り、其日午後總督一行を迎へ一行中の一人となる。忠州は例の重石鑛のお蔭にてやあらむ、思ひしよりは賑かの町にて、活氣に富み居り候。但し今日にては餘り土地の人より重石鑛を聞かず、或は重石熱は幾らか下りしものか。土地の人も「忠州の繁昌は一時的の景氣の爲めでなく、忠州は自から發展すべき運命に在り」と申居候。▲忠州邑外の古蹟彈琴臺は登臨の風景眞に絶佳「江山自ら時に入る」。野田大塊翁なんど南大門驛頭頻りに總督に土產を求められし由、其土產の一も此處で出來ゐる模樣に候。▲十一日は忠州より金泉まで三十二里を自動車にて疾驅し、途中有名なる鳥嶺の險を越えたり。千仭の絶壁を車中より俯瞰し膽を寒からしむる處もあり、峠を過ぐれば平路坦道、車の疾きこと彈丸の如く、正に天下第一の快活事たり。金泉より汽車にて夕刻大邱に著、總督を迎へたる大邱は非常の賑を呈し候。

木浦

▲四月金融概況　米價は依然一進一退の商狀にて出廻り靜なく斯界は益々沈滯に傾きつゝありたるも四月は廿一日より船舶運賃二割方の引上を發表せられたるを以て是れが實施に先ち商人手持品の内地積送り相當に行はれ又下旬には内地期米の急反騰によりて注文稍々輻輳したるも是等は一時的現象に過ぎずして大勢は依然として悲境を脱せず旁々出廻り愈々減退し月末在米は僅に二萬叺内外を算するに過ぎざるに至れり只檢米規則實施の效果は漸く顯著となり從來他港米に比し一籌を輸したる木浦米の聲價は却て近來他港を凌ぐに至りたるは喜ぶべきも未だ移出數量上見るべき增加を示さゞるを遺憾とす棉花は當月上旬を以て愈々操業を了りたるも殘存繰棉の移出は月央ば過ぎ迄每便相應にありて繼りたる資金の需要もありしも時已に終期に迫りたる事とて放出資金逐次回收し海藻類は兼々の出廻りにて未だ取引盛んならず牛皮も農繁と共に廻著減退するなど移出界資金の需要を喚起すべき材料乏しきに加へ移入界亦兎角沈靜勝にて一時活潑なりし金巾類の荷動きも相場の高騰と春暖加ふるに連れ頓に萎靡に衰へ其他諸雜貨も概して荷捌良好ならず旁々金融は閑散を持續しつゝ越月せり

光州

▲府尹郡守招宴　浦野光州府尹島司光州郡守を十一日午後七時より永春館に招き晩餐會を催す筈なるが宮木長官も十二日夜一同を招待する筈なり▲井出主計監招待　光州第二大隊並に憲兵隊其他諸官廳主腦者民間有志は十日夜西村樓に井出經理部長及ね隨員一同を招き晩餐會を催し尙十二日午後四時在光岡山縣人會は同氏歡迎の意を表する爲め普通學校にて茶話會を催し一場の講話を乞ひ備記念品（蝋石細工）を贈る筈▲棉播種終了期　陸地棉播種は例年遲くも本月五六日頃迄には終了すべき筈なるに降雨の爲め遲延し未だ半以上未終了の姿なりしが八日以降の晴天に播種は盛期に入り目下七八分は終了せしが此天候持續せば十三四日頃には全部終了すべく昨年は十日既に發芽せしも本年は十五六日頃にあらざれば發芽を見ざるべしと▲水道設計成る　光州多年の懸案たる水道は既報の如く道當局に於て設計中一昨日を以て略々設計書類圖面等完成せし由にて近く長官の決裁を待つて總督府に申達さるべし▲刑事々件激增　近來光州地方法院刑事部は多忙を極めつゝあるが本年一月以降本月十日までの刑事公判件數は三百四十八件にて昨年同期は二百十八件正に百三十件を增加せるが罪名は大部分窃盜にて原因は物價の騰貴せし結果なるべし

釜山

▲府協議會開會　十一日午後一時より釜山府廳樓上に於て第五回府協議會を開會したるが全員出席し大正五年歲入出追加案即ち徵兵旅費繰替金傳染病院下護岸工事並に寶水川口橋梁架設費の件、特別會計たる釜山鑿平地負債の利子中大正六年三月に支拂ふべき金額の内過般賣却せし土地代金中負債を償還したるを以て剩餘金九千八百八十圓丈を繰上げ内仕拂ひをせんとの件、釜山學校組合より買入れし舊居留民團廳舍は來る九月第一回代金支拂ひと共に所有權を移轉し使用期間中府の都合に依り他に轉貸し又は賃貸を以て增築、改築、修繕等の工事を施す事の諸案を諮問せし由▲武富大尉出張　陸軍運輸部釜山支部武富大尉は運輸事務打合の爲め十日午後十一時發列車にて元山に出張せるが十五日頃歸任の筈なり▲若松府尹の招宴　若松釜山府尹は十二日練習艦笠置艦長櫻井大佐以下將校を東萊溫泉蓬萊館に招待し午餐會を催したり▲藝妓連の慰勞會　釜山券番にては去る六日より四日間釜山座に於て十五週年記念興行として演藝會を開催せるが其勞の爲め十二日午後實業部にて一般藝妓連の慰勞會を催したり

◎佛軍勝利

巴里十日發表の公報に曰く獨軍はミユーズの左岸に於て激烈なる砲擊を行ひたる後二八七高地の附近を猛烈に攻擊したれども擊退せられ佛軍は若干の捕虜を得たりモルトムの西方斜面地に於て行ひたる諸攻擊の結果佛軍は獨軍塹壕の一部を奪取し捕虜七十二名砲二門を鹵獲せり（倫敦電報）

◎學士院受賞者

十二日を以て學士院受賞者を左の通り決定せり（東京電報）

▲恩賜賞　林泰輔、大谷遜、稻田隆吉、井戶泰
▲學士院賞　戶波勇一、鯨井常太郎、横山英太郎、北村政次郎

人事消息

▲平野宗三郎氏（帝國麥酒監査役）十二日龍丸にて神戶に向ふ
▲フイツシヤー氏（天津駐在米國副領事）十二日夜南大門驛通過東上
▲伊藤由太郎氏（貴族院議員）十三日朝入京天眞樓へ
▲矢野久三郎氏（釜山稅關長）十四日夜入京朝尾旅館へ投宿の豫定
▲李海昇氏（侯爵）十二日夜仁川より歸京
▲龜島豐治氏（鮮銀仁川支店長）同上
▲阿部國氏（鮮銀安東支店長）十三日夜入京不知火旅館へ投宿の豫定
▲横野旅兵中尉　十三日朝釜山より入京
▲楠本大田警察署長　十三日朝歸任
▲今泉檢事官　十三日朝釜山へ
▲河野檢事官　同上
▲森田金藏氏（神戶自動車商）十三日朝入京京城旅館へ
▲神野三郎氏（實業家）同上
▲神野金之助氏（明治銀行頭取）同上
▲奥田四郎氏（同）同上
▲高橋兒親氏（釜山起業會社長）同上
▲園谷熊助氏（實業家）同上
▲ウロトスキー氏（露國人）▲ロウヤス氏夫妻▲ケエリス氏夫妻▲マアアク氏夫妻▲マクレンガ氏▲バアセール嬢▲マアアク嬢▲ロウヤス嬢▲ロウヤス令息（以上米國人）十二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲秋田悦造氏（總務課長）東上中の處十二日夜南大門驛著汽車にて歸任
▲阿田虎輔氏（專賣課技師）慶州地方及び大邱に出張中の處十二日夜歸任
▲大石鉎輔氏（鐵道家）十二日夜歸京
▲和田政氏（總督府屬）十二日夜金剛山方面より歸任

京城仁王山上の城壁

●恁な好機會は無い
城壁巡りは愈々明日の日曜
漢陽公園で出發合圖の煙火

待ちに待つた城壁巡りも愈よ十四日の日曜を期して行はれる事になりました、先週の催しは生憎の雨に延びましたが其の爲め城壁に關する

▼各方面の研究が能きました事は前の遺憾を償ひ得られるかとも思はれます、京城測候所の觀測によれば日曜の天候は大丈夫だらうとの事ですから當日漢城四里の城壁を踏破して

脚下の新綠を賞するのも亦言ふべからざるの快事だらうと思ひます、殊に仁旺山、白岳、南山の絕巓から初夏の薫風をあびつゝ下瞰した眺めは實に壯絕快絕の感じに打たれざるを得ませぬ、剛健の氣に富む滿都の諸君、健脚を誇らるゝ青年諸君は奮つて行を共にせられん事をお薦めいたします、出發は日曜の午前八時、その前七時卅分には富田煙火製造所が漢陽公園で合圖の煙火を打ち揚げる事になりました、猶ほ集合地は南大門小學校、會費不要、辨當水筒御持參の事は豫て記しておきましたが道案內は

前後二回の踏査を試みたる本社々員が當る事になりました、行列の先頭には殊にむかしの巡城遊を記念する爲めに旗持ちと朝鮮樂隊が進みます、路は仁旺山、白岳、南山を三段路として之を除く他は難路といふ程ではありません、併し仁旺山の山巓には數十丈の絕壁に臨んだ難路がありますので各自に於ても餘程注意しなければなりません、殊に行列の順を爭うて怪我をするやうなことは是非愼んで頂きたいと思ひます、また途中危險なる箇所には赤布を結び道に迷ひ易き處には白布の栞をしてありますがなるべく案內者の通つたあとを隨つて頂きたい、就中仁旺山の如きは橫道に迷ひ込むと誤つて猛獸取りの陷穽に陷る危險もありますから是非團體員としての節制を守つて頂きたいものです、猶ほ道順はなるべく城壁巡りの興を殺がぬやう注意しますが何分私有地とか市街との關係上

▼極めて小部分に於て城壁と離れ又時には城壁の內側を通り時には外側を步かねばならぬ處も出來て來ます、また途中には官有私有の植林地や砂防工事を施した場所もありますから德義を重んじて戴きたい、履物は靴でも充分かと思ひますが途中隨分鮮苔の上や岩石の間を步かねばならぬ處もありますので

草鞋か廠裏が最も便利かと思ひます、團隊が景福宮裏の白岳を越えていよ〳〵東北の肅靖門に著いた時は其處で中食を喫めるべくお茶の用意もあります、**水は山麓の三淸洞から汲んだ藥水の甘露**、むかし國王の召された由緒ある兄弟井の玉泉を汲みあげる譯ですから實に一滴千金の味ひかと思はれます、此處で陸軍砲兵正領魚潭氏の講話を聽き更にまた東小門に向つて出發しますと路は非常に樂になり駱駝山から東大門を經て奬忠壇の丘に出ますと

其處にはお茶の用意が出來て居ます、一行は更に南山々巓から脚下の漢江を望んで漢陽公園から最初の出發點南大門に還ります、猶ほ途中萬一を慮り鈴木七星堂醫院から救護班の人も同行します、兎に角**城壁巡りの淸遊は昨今非常なる好人氣を以て**迎へられて居ます、李朝五百年の物語、これを古城壁のあとに偲ぶのもまた興味深きことかと思はれます。

●伊達家の珍什名器
三百七十餘種を入札に附す

奥州仙臺青葉山の城主として、五十四郡六十餘萬石の大藩として、藩政時代には飛ぶ鳥も落す勢で、多年蒐集した伊達伯爵家の寶物は、財政整理のため從來愛藏の[illegible]人手に渡したるものもあれど、技に重なる名品三百七十餘種を擧げて入札の上賣却する事となり、十二日より三日間東京日本橋倶樂部に於て、好事家に下見せしむる展覽列をなす

藩祖獨眼龍政宗は豐太閤をも手古摺せし程豪膽の武將ながら、其半面は風流事を好みて、利休同門の今井宗久に茶禮を受け、當時西方の大藩細川三齋には及ばずとも、大名茶人として風指の一人なりしかば、名器名畫を手に入れたる事は驚く計り、織く次代の忠宗も茶事にかけては豪奢を極め、廊通ひに憂身を窶した貞宗を除けば、綱村、吉村、宗村と何れも好事の嗜みありたる家柄とて、今回の入札品中

▽**名物の肩書**あるものさへ十數點に及べり、されば恐らく空前の大入札となるべく東京京都大阪は勿論、全國の骨董界は[illegible]め立ちて前評判頗る盛なり、先づ品物中茶入と茶碗は名物唐物岩城文琳の茶入にて、[illegible]一幅とにて[illegible]二品共五萬乃至十萬圓の呼聲あらんといふ、岩城文琳は實は岩城一國にも替へ難しとてかく名づけたりと傳へらる、[illegible]利大茶人小堀遠州は更に土天文琳といへる館た附け、文琳形の茶入中最上の品たる[illegible]國寶以上と稱するも[illegible]の曾化[illegible]は東山名物にて、[illegible]に傳はりたる

▽**貴重の一軸**なるが、初めて政宗を招見せる時引出物としたる由緒ある品故、此二品は孰れが高價ならんと斯道家は興味を以て成行を注目しつゝあり床しき物語の伴へる二三の品を擧ぐれば、名物瀨戶堪忍肩衝の茶入は、高さ二寸七分程の瀨戶物にて二代藤四郎の作なり、名匠の苦心は形相によく表はれて類稀なる美品なるが、上彩の少しく頽れたる處あり

▽**窯出しの時**之に氣付きたれど他には申し分なければ、藤四郎より『猶多くの流れたる箇所有之候へども再度斯る佳品の出來は測り難く候へば此位の疵は御堪忍あり度』と[illegible]狀を附して詫びたるもの故、[illegible]小堀遠州が直ちに取つて銘とした[illegible]鑑識により[illegible]却つて品位を高からしむるに至りたるも面白し、牧溪の筆にて朝陽利尙[illegible]の禪幅は、豐太閤が初めて伏見の仙臺[illegible]へ臨むに際し、第一の御馳走として此幅を掛けむ爲め、[illegible]權威たる古田織部の[illegible]匠にて表具[illegible]を整へさせたるもの、今も某所に存する政宗宛狀に『牧溪の[illegible]も念入に仕立さすやう急ぎ申附くべし』とあるは多分之れなるべし

▽**祐勢正信の**周茂叔愛蓮圖は小幅なれども、曾て某外人が痛く感嘆して、大家の所藏品なれば斯くる事を口にするも失禮ながら、五六萬圓なら讓り受けたしと激賞せし程にて、歐洲大戰さへなくば無論右の外人に占めらるゝものなるべく、本朝書としては此一幅が大關なり、名物此世の香爐は利休が死に臨みて、末期の喫茶に用ゐし道具にて、其形に筆を執りてこのよと箱書したる物

▽**此世の名殘**といへる意なるは言ふまでもなく、單に香爐としても此上の名品なしさか、[illegible]利休の所持にて自身古作[illegible]は京の栗田口の隱士一路と[illegible]愛賞して、[illegible]辭世の[illegible]詠し、風流三昧の境界にありける[illegible]に就寢して利休なして[illegible]堀き事なりとて、[illegible]圖に取り、缺片を拾ひ集めて[illegible]固を飼田したる其一に[illegible]すぎたぞこれは[illegible]一首を添へて太閤に獻ぜしといふ[illegible]の一品なり（つゞく）

●鞄から金指輪
圖々しい小娘

愛媛縣周桑郡庄田村生れ豐田さだ（一二）は三月二十八日より永樂町二丁目和田某方に女中として雇はれ中四月二十一日店の押込にありたる主人所有の伊達巻一本外三點（十五圓餘）を盜み翌日午後五時頃には同家の十八金指輪一個外二點（九圓）を窃取し之れを自分の支那鞄に納れて五月六日夜逃走し贓品の一部は黃金町五丁目に女中奉公中なる實姉豐田たねの許に持ち行きて隱匿しありたるを本町署の刑事が探知し目下同署に於て取調中なるが倘餘罪ある見込なりと

●不正賴母子稧
檢擧さる

京城鍾路警察署管內にては六十二組の賴母子稧あり中には其の方法曖昧にて富籤に類せるものあり、鍾路署に於ては其弊害最も甚だしと認むるもの二組を檢擧したり

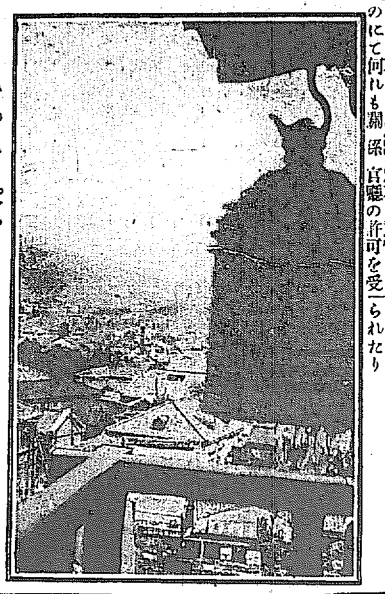
▼その一組は京城寬井洞布木商金敏洙（三一）鍾路四丁目米商李昌鉉（四三）雲智米商鄭鏞嵐（三六）鍾路三丁目米商金永壽（三二）の四名は發起者となり京城光業者稧と稱する稧を組織し稧員四百名を募集し掛金を集めて一等當籤者に一回百圓二等三等は各十圓宛と定め殘金は之を他に融通し其利息を以て稧を維持するといふもの

▼他の一組は惠化洞質屋李完翼（四〇）鍾路四丁目陶器商禹啓鉉（三）鍾路五丁目陶器商金應斌（四五）三名の組織に係り增資抽籤稧と稱し組員一千名より一回五十錢宛の掛金を取立て當籤者三名に各七十五圓を渡し其他六名へ五圓宛として何れも取除きといふ方法を以て今日迄繼續し來りたるものにて何れも無許可なるを以て官廳の許可を受けざるものと判明し前記七名は同署にて各禁錮一箇月宛の處分となれり

●山中に潛伏す

慶北扶安郡東津面山月里生れ金景七（三八）は外四名の同類と共謀し去る大正元年九月某夜金堤郡扶梁面前浦里金熙道方に押し入り現金十四圓を强奪したるを手始めに同年十一月某夜拳銃を携へ井邑郡巨麻面廣德里某方に押し入り現金六圓外數品を强奪し又大正三年二月二十日夜金堤郡扶梁面玉明里金錫用方に押し入り現金一圓を强奪したる外金堤扶安井邑三郡を跨に掛け十數回に涉り强盜を働き山中に潛伏中此程其の筋の手に捕へられたり

●火見櫓から双眼鏡に映る
美しい街の灯
が消えても望樓守の眼は輝いて



ネルの上に給羽織を重ね著て足早に步けば漸く中譯ほどの汗が襟元に滲み出る此の頃の宵の口は四季を通じて漫ろ步きの好時節とあつて店々の灯が異晝のやうに

◆**華かに明るく**輝く八時過ぎの本町通りには宛かも蜜の甘きに寄る蟻のそれのやうに散步の人が群れ集まつてくる、その時望樓にあつて耳を澄ませば車の走る音、人の叫び聲、電車の轢る響など

が打交つて一つの大きな雜音となつて聞えてくる、又町の灯は郵便局前の廣場から本町通りの明るい光りが赤々と一條長く

◇**闇い空に反映**して薄紅を流した川のやうにも見ゆるのや、鍾路、南大門通り上の空も

◈**黑い家根の間**から電車の發する靑いチヨロチヨロ火が魔の光りのやうに閃めくのが時には線香花火のやうにも見えて美しい、併し是等の光が相映じて美しい京城の街も十二時近くになつて各劇場、廣告塔の電氣が一齊に消えて赤電車が吼ゆるやうな凄まじい音を立てゝ疾驅する頃になると

◇**市中の電氣は**申し合せたやうにパタ〳〵と消えてしまふと共にそれまでに聞えてゐたいろ〳〵の音響はピタリと止まつて全く靜まり返つてしまふ、盛んに躁いでゐた街はいかにも疲れたやうに眠つてしまつたのである、宵の口の喧騷雜沓の市中を冷かに瞰下ろして絕えず心を休めなかつた

◈**望樓守の眼は**此の頃から怪しく輝きその神經は鋭敏を加へてくる、何となれば市民が薄赤く彩られる、市中の明るい灯は南大門通では靑木堂、サクラバー、仁丹廣告塔のイルミネーシヨン更に本町から櫻井町にかけては大正館、黃金館、壽座などの劇場又は活動寫眞館などである

◈**暗夜になると**燈が揚がつても容易にそれが見れない、縱合それが見れたにした處が何處の方面か見當が附き兼ねる事がある、尤も市中の大建物の煙突とか、燈火とかによつて出火地點を報告するのだがそれが中々判らない、可なり不自由な人間の視力も段々馴れてくれば暗黑の中にある物を

◇**見分ける事が**出來るけれどもそれが又容易ではないさうだ、かうして暗い市中を睨みながら夜を徹するのは職業とは言ひながら容易な事ではない（つゞく）

◇**草木も眠りな**未だ眠りに就かず、活動を續けてゐる間は一朝事のあつた場合にも消防の出動までに近所の者が寄り集まつて急に應ずる事が出來るがすべての機關が停止した深夜に於て一分間發見を遲らしたら一大事である貪るといふ二時三時頃になると絕えず襲うてくるのが常なのだが望樓に立つて雙眼鏡を取つた時は全くそれどころではなく、自然に起つてくる責任の觀念が筋肉の全部を緊張して棒の如く突立つた身體は彫刻像の如く微動だも出來ないやうになる、殊に

●總督府傭人運動會

總督府にては用度掛主催の下に十四日午前九時より午後四時迄景福宮神武門外廣庭に於て傭人並に家族慰安の爲め大運動會を催し奇抜なる假裝行列各種運動相撲及餘興數番ある由

◉中野令孃葬儀

中野警務官令孃品子の葬儀は十三日午後一時より永樂町本願寺に於て執行されたるが會葬者は總督府、警務總監部、憲兵隊、市內各警察署員、廣島縣人を始め令孃生前の知己友人等無慮五百餘名にて頗る盛なりし

書畫骨董入札

逸雲、額、料石模物、額章、扁島、椰園、長崎苑、古、賀精里書、胡鐵梅花鳥、某亭山水、事庵書、支那古畫、澤山、扇向モノニ五岳梅、岸竹堂小禽、寬齋梅、佩川先生書、立原杏所、其他珍器澤山

當十三日下見夜間モ御覽ニ供候
十四日正午ヨリ開札仕候

京城本町三丁目　佐々木聚古堂

おれ待兼の城壁廻り

は愈々十四日午前七時三十分南大門小學校に勢揃ひして八時に南大門から發足いたします會費はいりません辨當携帶で何人でも參加は御隨意

●倉庫吹飛さる

去る六日夜[illegible]に在りたる石製[illegible]鍋、バシ等重量の[illegible]金屬道具も屋根瓦の上に吹き上げら[illegible]

[illegible]人の借用證書等を利用し前後五回に亘り百八十三圓を橫領したる爲め檢[illegible]

[illegible]の妹婿なる大邱南町朴命壽方に起き[illegible]たるが所司家に司吾中なり[illegible]

[illegible]署より係官現場に出張し檢視す[illegible]

一等（三名）野谷敏[illegible]、荻田悅[illegible]、尾崎よし、二等（六十二名）[illegible]、子五郎[illegible]

子、高田直、高田[illegible]

晴れ後曇　五月十四日

演藝案內

黃金館　電話二六三七　黃金町四丁目
天然色活動寫眞株式會社特約一手代理店
五月十三日より晝夜の特別大寫眞
新派活劇　變化島田　全三卷
[illegible]
英獨海戰　S二號　全三卷

壽座　本町　電話五七八
五月十三日晝夜
改正義團一行
[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇番
女流浪界の名人廣澤千代女一行
△太功記（尼）△大名五郎藏（小菊丸）△片岡中將（光）△塚原卜傳（松壽女）△鬼人お松（座長千代女）△辨慶（勸進帳）

壽館　電一〇五〇
[illegible]

大正館
實錄　崇禪寺馬場敵討　全四卷
二百年忌追善興行
連夜滿員御禮申上候
松之助、延二郎合同大撮影
大好評大盛況

黃金館
特別大興行
舊派實錄
▲お仙が茶屋の由來
▲英獨海戰S二號
井上正夫十八番
▲活劇變化したた

御成座　電話二九一
三府合同歌舞伎市川海老松大一座
前狂言　鬼一法眼三略卷　全三幕
切狂言　[illegible]
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
[illegible]
▲新派大悲劇　花盛り　全三千五百呎
▲巴里の百景　全千五百呎
[illegible]

故品子送葬の際は御繁忙中御會葬被下候段感謝に不堪候乍略儀不取敢以紙上御禮申上候
五月十三日
中野有光
廣川謙吉

肺病　肋膜炎　氣管支
には輕症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券武錢相添照會あれ治療法豫防法を併に詳報す
名古屋市西區本町三丁目鈴木盛角堂

かゝる時腦病を自覺せよ！
一、逆上頭痛耳鳴眩暈起る人
二、神經痛み仕事に着かぬ人
三、頭腦に重き物被る心地の人
四、便秘又夜分眠られざる人
五、頭腦惡しく記憶力健忘の人
六、事務執るも直疲勞する人
かゝる兆候起る時スグ
健腦丸服用を怠る勿れ
（價一週分二十錢　二週分四十錢　半月分七十錢　十二週分五圓）
大阪心齋橋二丁目　丹平商會
大阪市平野町堺筋　丹平商會
東京日本橋區有屋町　丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥舖に在り

健腦丸　腦病良藥　KENNOGWAN

迷ふ勿れ腦病神經病者よ
島村醫學博士有効證明の健腦丸は幾多の患者が實驗して其偉効に驚く唯一の腦病神經衰弱諸症の最適藥である。
常用すれば逆上を引下げ便通を快し記憶力を增し中風卒中を未然に防ぎ危險な腦充血を治す。

古小說一錢　東京銀座尾張町　新鋭堂書店
販賣　貸本商及愛讀者には確實懇切に取扱目錄

期米
致富之寶無代進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我商店
取引受付略號オサカソガ
振替口座大阪二四一七二番
電話長北（二四九番）（一五〇）（二五〇一）番

男女簿記生徒募集
六ケ月ノ修業ニテ官衙銀行會社鑛山鐵道商店等ノ事務員タルベキ實力ヲ養成シ卒業後ハ確實ニ就職紹介ス規則要二錢
京城南大門通五丁目八三
京城簿記專修館

京城の城壁 (13)

朝鮮總督府技師　中村與資平氏談

京城々壁の研究の中で其の城門の研究は最も興味あることであらう、自分はまだ京城々門の總てを仔細に視て居ないが其の中特に感心したのは南大門（崇禮門）と東大門（興仁之門）と西小門（昭義門）の三つである

南大門の構造は土臺が花崗石の石垣となり上に二層樓の樓門が立ち屋根はまた四注屋根となり二重樓木で組物も亦大變よく出來て居る、そしてまた正面は五間で側面が二間だから我々の術語で云へば五間二面と稱する建築である、南大門は一見非常に落著いた安定を保つた建築であるといへる、且つまた年代も經つては居るが全體の感じが頗る上品で質朴で堅牢なものに見える次ぎに東大門の構造はこれも二層樓で屋根は四注の五間二面であるが全體に於て南大門の簡素なるに較べると非常に飾氣澤山の建築といはねばならぬ、殊に肘木の如きも全く装飾の爲めに作られて象の鼻のやうに尖つたものがのぞいて居るがまた其の肘木を支へる箇所も彩色した唐草の彫刻などがあつて非常に賑かな種類のものである斯く装飾のみに重きを置いた建築は一の構造上の墮落とも云ふべく自分は歴史上には門外漢なれども東大門の建築は確かに南大門よりも新らしく且つ其の時代の人が輕薄であつたと思ふのである、第三に壞された西小門（昭義門）に就いて見るとこれは三間二面の單層であつたが此處には美しい肘木もなく梁受けの装飾もなく簡素な間に且つ均衡よく出來て居た元來朝鮮の建築物では門が最もよく出來て居る、彼の景福宮の建造を視ても其の正面に位する光化門の姿が如何に雄大に配置よく出來て居るかは誰しも心付かれる事と思ふが支那を除き西洋にも日本にも未だ曾て朝鮮程の壯大な美しい城門を有つた國はないのである、朝鮮は其の國民の家屋が矮少見るに足らざるにも拘はらず門だけは如何にも大陸的で國そのものに不似合な程それほど偉大に出來て居るそれにまた私の感服に堪へぬのは城門の建造が如何にもよく其の周圍の位置に相應して居る點である、例へば南大門はむかし彼處が狹い谷間にあつたから從つて其の構造も近距離から見るに適して居る、然るに東大門の構造は遙かに鍾路の都大路から望むべくその遠望が非常に引き立つのである、恁麼門と附近との位置の均衡は彼の羅馬などの建物にも用ゐられて居る事で例へば羅馬に於ける丘の上と谷の下とは其の間自ら建造が異つて居たやうである是に就いて之を觀れば南大門の構造が狹い所から近づいて見るに格好よくまた東大門の構造が一階と二階の間隔が長く徒らに頭部ばかり大きいやうで却つて遠望の引き立つのも却々考へた建方であると思ふ次に朝鮮の城門は唯だ城壁の石垣の上に建物を載せたやうな構造だけれども其の間石垣と建物との均衡が却々巧みに出來て居る、殊にあの花崗石の石垣と建物との間に黒い煉瓦の女壁があるのは全體の格好に非常につれあひよく且つ其の色彩の變化も非常に面白いのであるまた東大門などにある牙の如き樋の飾りは壁に流れる雨水の排け口の爲めに作つたもので歐洲にも曾てゴシックの時代には那麼ものを用ゐてある、中にもノートルダムの怪獸の如きものを覗かせるとか或は鳥の形や人の顏なども作つたものである、併しレネッサンスに至つては恁麼ものはないが兎に角面白い趣構である、次に朝鮮城門の關門には蒼穹型の石が用ゐてあるが日本内地で此の蒼穹型を用ゐたのは極めて近代のことである泰西では既に希臘時代に此の半月型を用ゐて居るが其の頃は彼地でも木造から石造建築に移る時代であつたから堂々たる石柱などはあつたが石造の蒼穹型は自ら異るやうである、彼地では蒼穹型の石がそのまゝ石垣の石と連絡して居るが朝鮮のはそれが別個の石材を用ゐて居るので勢ひ石垣の石材は尖端のある薄つぺらな構造とならざるを得ないので恁は朝鮮の構造が誤つて居ると思ふ、次に關門の扉にも細かく鐵の鋲などを打つて一見鎧のやうな構造をしたのは門の威嚴を保たせる點を考へたものであらう（おはり）

●西門庭球大會

西大門倶樂部にては十四日構內テニスコートに於て庭球大會を開き午前は倶樂部員、午後は來賓の競技あり了つて京城テニス會發起に關する相談會を開く由

宗教界消息

▲日本基督教會（長谷川町）　十四日午前八時五十分日曜學校　同十時禮拜說教題「決定的瞬間」井口牧師　同日午後八時半傳道說教題「貴き[illegible]」井口牧師

▲京城基督教會（南米倉町）　午前十時朝拜說教「風中の悲劇」山本牧師、午後八時夕拜說教「悅樂の宗教」山本牧師

▲メソヂスト教會　午後一時日曜學校午後二時禮拜說教「個性の完成」梅岡牧師　南大門通り會堂にて、午後八時共勵會說教「信仰の眞價」新山仁太郎君（旭町二丁目三十六番地）

▲龍山日本基督教會（漢江通）　十四日午前九時日曜學校同十時禮拜說教「永遠の巡禮者」伊藤牧師同午後八時傳道說教「旅人氣質の救助」同師　歡迎

▲金光教龍山教會　十五日午後八時半より大祭前々祭式後生沼仁川教會長の說教あり△十六日午後二時より本祭大祭執行祭典後生沼仁川教會長の說教あり

▲青年會日曜講演　南大門通二丁目京城基督教青年會にては十四日午後二時より左記の日曜講演あり發起聽講を希望する者にて

一、實業界の青年に望む　朝鮮銀行員京畿總治君

一、濱實の解釋（英語）セヴランス病院長エビソン博士

▲妙心寺提唱　臨濟宗妙心寺別院にては午前九時より臨濟會例會を開き後藤瑞巖老師の無盡燈論提唱あり

▲龍山高野山開演　小田新岳老師は二十七八年役に從軍せる六十二才の老僧なるが鮮滿の戰跡を訪れて戰沒者の靈を慰めんと五月初め釜山へ渡り大邱大田の兵隊を慰問して目下入京中なるが十三日十四日は龍山高野山に開演し軍隊の慰問を爲す由

▲基督教演說會　南米倉町朝鮮合基督教會にては朝鮮視察の爲め來京中なる神戶賀島組會長にして日本組合基督教會理事なる賀川氏の演說を聽し十四日午後八時より演說會を催し來會を歡迎する由

●解警戒（五月十三日午前十時發）

北部の警戒を解く

京城日報每日申報各支局主催
御大典活動寫眞

■大邱（十四、十五、十六日晝夜）　■釜山（十七、十八、十九日晝夜）　■鎭海（二十日晝夜）　■馬山（廿一日夜間　廿二日晝夜）

京城日報、每日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

■大邱＝錦座＝（晝間午後二時より軍人學生團體　夜間午後七時より一般公衆觀覽）

■番外＝實寫物＝滑稽物＝西洋奇術等

主催　京城日報大邱支局　每日申報慶北支局

活動寫眞謹寫巡業日程

商況

東京株式特電

十三日	前場寄付	大引
日本郵船	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
東京瓦斯	[illegible]	[illegible]
日本石油	[illegible]	[illegible]
大日本麥酒	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

債券現物特電

十三日川來値段（前日との比較）

東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、南滿鐵道 [illegible]

公債直取引特電

十三日川來値段（前日との比較）　九六、五〇　八二、二〇〇　八一、三〇〇　九六、二〇〇 [illegible]

深川在米特電

十三日現在高　朝鮮米　内地米　[illegible]　九六、五七九　七三、七九七　二〇八三、四九〇

東京期米特電

十二日前場　七月限　一五、一五　一五、〇七　一五、一二　一五、一五

大阪期米特電

十三日前場　寄付　高値　安値　止め　[illegible]

大阪株式特電

十三日　前場　四三七　四九六　五二七　[illegible]

大阪三品特電

十三日前場　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限　十月限　[illegible]

下關期米特電

十三日前場　[illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

●期米更に下押し　時期の推移と仕手關係とによりて堅調を示し[illegible]

●糖戰漸く下火　（京仁）巧妙に立廻るが肝要なるべし一時の不順相場も今や除去せられたり深川在米の日々増加を示しつゝあるあり今後の期正米果して如何なる成行きを辿るや

市場に於ける砂糖界の暗闘は相當長期に亘れるさ元々算外を以つて賣荒しつゝありし嵩さて左しも猛烈を極めし仁川筋の活動も昨今漸く疲勞の色を現はし來れるさ同時に稍々下火の模様を呈しつゝあるさ同時に値段競爭も[illegible]

●空瓶の近況　[illegible]

●出旺盛を來し上海方面の輸出　[illegible]

●ヂリ々々買上　[illegible]

●釜山の煙草競爭　當地に於ける東亞煙草會社販賣店の暗闘は既に合社の解體によりて當分に復したるも近來釜山に於ては同業の販賣競爭激烈を極めつゝあるも[illegible]

確實　迅速

（マ）南濱支店　仁川海岸町取引所仲買人　電話一六〇番　六五番

●罐詰新筍の氣配　[illegible]大罐五十錢

●千瓢依然强硬　[illegible]三十八九圓の珍高値を維持　[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米も保合　[illegible]

各地商況

○大邱（十二日の穀物）　[illegible]

京城雜穀

小豆は日々の入荷多からず[illegible]約二十錢落[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物市場　十二日

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　（利）仲買店　電話二二三番

仁川期米

▲十三日前場　大阪　寄十五
節四十四錢と安移に　[illegible]四十錢更

三色仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話三一〇番

市場零聞

▲前場大激戰　[illegible]

▲大阪止高噂と共に十錢丁度と跳返[illegible]

▲大買退敵行したる人氣一變[illegible]

▲中限に向つて[illegible]

▲中限大商内　[illegible]

▲今僑大に買ふ　[illegible]

▲同筋の硬化を噂[illegible]

▲能く賣る　[illegible]

▲一の中限賣　[illegible]

▲墨買直し　[illegible]

▲大商内　[illegible]

▲人氣動搖す　[illegible]

▲波瀾多からん　[illegible]

▲落移に六節二十五錢と漸　[illegible]

仁川米豆取引所

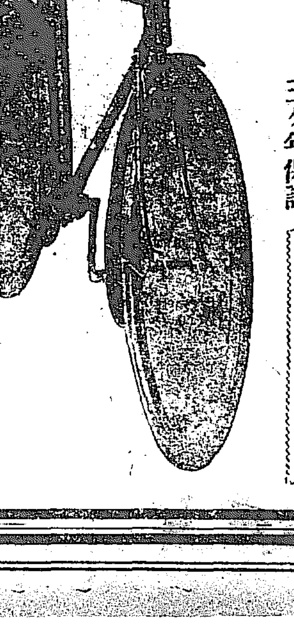
十三日の七月限

前場		平均値段	
寄付	十一圓八錢	一節	十一圓八錢
止め	十一圓十錢	二節	十一圓八錢
高値	十一圓十錢	三節	十一圓五錢
安値	十一圓四錢	四節	十一圓六錢
出來高	三萬八千三百石	五節	十一圓八錢

賣買取組高

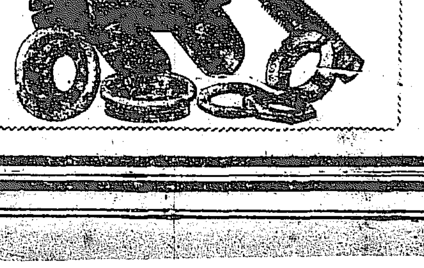
	取組高	前日比較
五月限	三千三百石	十石
六月限	二萬八千五百石	五十石
七月限	二萬九千六百石	五十石
十二日後場		

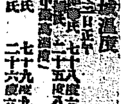
登錄商標



○全鮮を風靡せるベロース號の勢力は其名の如く駿速也

堅牢無比なる　ベロース號　三ケ年保證

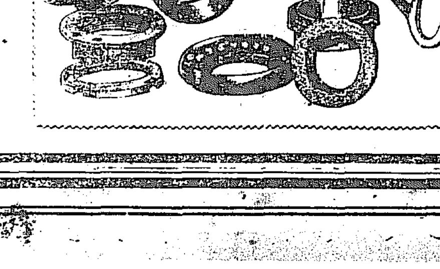




登錄商標

○萬人の仰望せるアイデル號の眞價は其名の如く構造に於て理想的也

輕快雄美なる　アイデル號　三ケ年保證



特約店

大邱　井上自轉車店
釜山　井上自轉車店
群山　稻垣自轉車店
京城　德昌號本支店
清州　岡田自轉車店
平壤　金池自轉車店
木浦　村上自轉車店
江景　能見自轉車店
元山　藤本自轉車店
京城　美濃屋自轉車店
天安　箕田自轉車店
全州　島自轉車店

自轉車及附屬品直輸入並に卸商

京城南大門外　横山商會京城支店　長電話一八七五番　振替二三〇四番

本店　神戶磯上通り八丁目

●縊られて頓死　慶北大邱鳳山町[illegible]は去る六日午後自分宅に歸り臥床せしまゝ翌日午前七時頃遂に絶命したりとの報に接し大邱[illegible]

●連絡船上陸客　十三日[illegible]釜山入港櫻丸一二三等客[illegible]

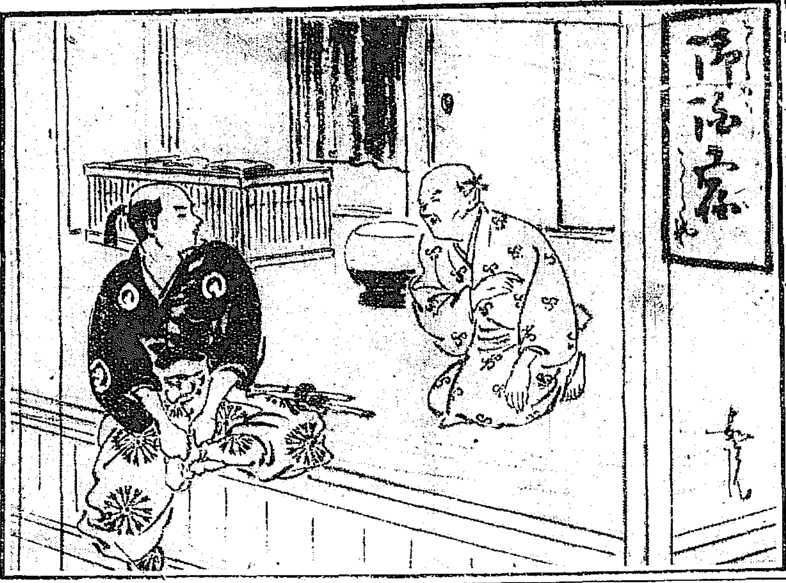
[illegible]

京城温度　十三日正午　[illegible]

宮本武藏

第三十七回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

大阪の八軒家といふ處に瓢簞屋作兵衛と云ふ旅籠屋がある、此處に宮本武藏は泊りました京都と違つて大阪は餘り見物する處がないそれで一兩日彼方此方と見物をしたが、關口彌太郎から承はつた話しには大阪には大和流の弓術の名人で大藏院宮內、手裏劍の名人で毛利玄達といふ人があるから是非手合せをするやうにと云ふ事であつた、そこで其主人佐兵衛を呼んで　武「毛利玄達と云ふ先生のお屋敷は何處であるな　佐「左樣、毛利先生のお宅は生玉の境內でございます　武「夫から大藏院宮內先生のお宅は　佐「天滿八丁目でございます　武「毛利玄達といふ人は何んで、　佐「左樣にございます、元此の人は横堀といふ處の材木屋の主人で左りの方の足が惡い、どうか坐つて居ながら用のたりるやうにと言ふので手裏劍といふものを習つな、前に机を置いて其下へ左りの方の足を突込んで居れば腰が變らない、それで後方の所へ支物をして十八本に十八本三十六本の手裏劍を前に山形に並べて置いて向ふに太白の鞠を釣して置いてそれを此方からポン／＼と打つ、目に見ゐるものなら絹針を釣して置いても打つ鶺鴒の鵜鶘も打つて見せやうといふ名人、大藏院宮內と云ふ人は八百屋さんで天秤棒を肩へ舁いで胡蘿蔔や牛蒡を賣つた人だが武術の流行する時だに依て武術を習ひたいと云ふので弓を習つて到頭名人になつた、二人共聞い人達でございます」と聞いて宮本佐兵衛に向ひ　武「大藏院宮內先生の處へ試合に行きたい、どうか案內をして呉れるやう、」　佐「其は不可ません　武「何故いけない　佐「無賭の勝負はしませぬ　武「無賭の勝負をしないといふなら、何んな勝負をするのだ　佐「左樣、宮內先生の玄關の處に九六の錢が五十貫積んであります、九十六で百の通用をしますから之を九六の錢といふので五十貫のお鳥目が積んであります、此方の先生が一分お金を持つて行きます、それで五十貫と一分賭勝負をします、そこで先生矢がドン／＼當ると一分取られて仕舞ふ、其の矢を三本射て二本此方が受止めると五十貫取れます、其の賭の勝負の外はしませぬ」聞いて宮本、腹の中で笑つて居た、苟にも武藝を習ふと云ふ者が其氣性に似合はない、賭博に類する所のものだ、金錢の勝負を爲るといふのは怪しからぬ、根が町人だから心が賤しいと腹の中では思召して居らつしやる　武「さうか、其ぢやア一分持つて行から賭勝負に　佐「お止しなさい誰が行つても勝てるものではありませぬ、先日私方に泊つて居りました劍術の先生でありますが、宿泊錢が澤山滯りまして今日五十貫取つて來て貴樣の方へ勘定するから一分貸せと仰つしやいました、其故仕方がないから一分貸して遣りましたら、行くと直ぐ取られて仕舞ひました、初めての事で樣子が分らないに依つて今度は勝つて見せるから最う一分貸せと仰つしやる、私も致方がないから又一分貸しますと又取られました、其から戾つて來て、とても勝つ事は出來ないと言つて諦らめて仕舞ひ、出立をするにも錢が無いからどうか開運の節戾すから草鞋錢を些とばかり貸して呉れと申しましたから、貸してやりましたが今に返しませぬ、貴方樣も無駄だから御中止なさい　武「失敬な事を云ふな私の腕前も知りもせずに無駄だといふか、貴樣に一分貸せなどとは申さぬ、此の通り一分渡して置く又無代で案內を賴むも氣の毒だに依つて貴樣の案內料として一分遣る、都合二分貴樣にやつて置くから案內しろ、　佐「そんなら行きませう、天滿まで往つて橋を渡れば直ぐです　武「そこで先きに樂しみがなければ行く張合がなからうから、萬一今日私が勝つたならば、五十貫取つて貴樣に二十五貫やらう　佐「それは何うも有難い裸馬の轉んだ例なし第一番に一分貫つて又二十五貫になりやア結構でございます、行きませう」と言つて亭主先きに立つて天滿八丁目大藏院宮內の道場へ案內をいたしました。



婦人科　産科
二宮醫院
京城壽町四一　電話一二〇一番
二宮亮吉歸郷中九州醫科大學産科婦人科教室醫學士錦見慶介君を聘し從前の通り診療可仕此段謹告候也

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病　專門
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　疳瘡　皮膚病
永樂町二丁目　金光敎會降り
安部醫院　電話一四九一番

五月十五日九星
舊四月十四日壬子
本命七赤　四危　大安

▲七赤　手段込主義の事多き日　新事見合南方は吉　暗劍西　▲八白　恨の屆く日　轉居開業入門名弘　求職　金件　出漁船　體先を見越たる商事締昔吉　▲九紫　注意のあわぬ斷有日　新事手控商事は吉　人と交渉を忌む　▲一白　安全なる日　轉居開業入門名弘　求職造船金件結組木力電氣藥物皆吉　▲二黑　向上の日　轉居行商　求職金件築造　金談婚禮　賣業皆萬吉　▲三碧　客な事多き日　新事手控諸事は吉　保證裁審等を禁ず　▲四綠　不覺な事有日　注意　新事手控商事は吉萬町事にせらるべし　▲五黃　圓滿を得る日　轉居旅行入門名弘金件求職　體大なる金融等皆吉　▲六白　好況の日　轉居行商　求職　金談名弘　一遊婚洛水座皆吉

◉新案賜輪電車切符入　今回東京市京橋區南小田原町三丁目十番地輪商やよい新案賜輪電車切符入を發明したり男子用舸皮製十八錢婦人用お召共絹布製二十八錢郵稅代用一割増

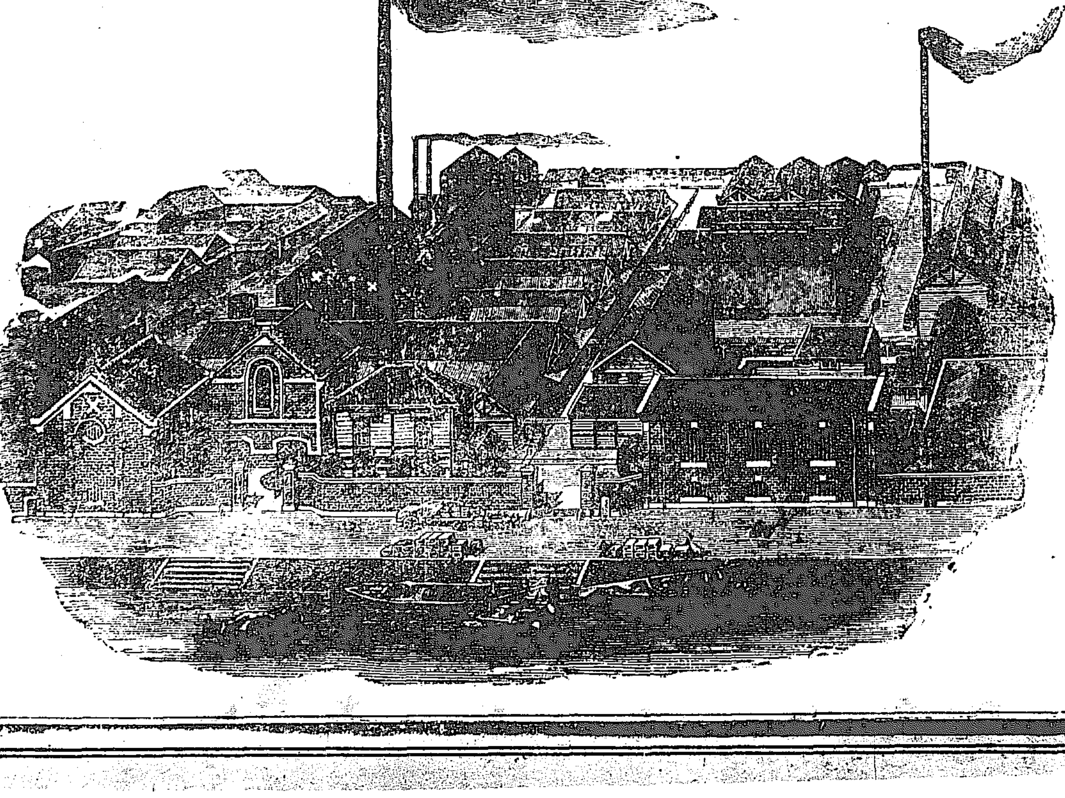
◉宇治の新茶　山城宇治木幡の林良製茶所より四月二十八日を以て新茶大走を各地へ發送せりと

花王石鹼

我れに良品を與へよ
而して價を廉にせよ

之は東西古今を通じて渝らない需用者の要求であります。そして社會が經濟的に緊張すればする程、此の要求が强くなつて參ります現在我が國に於ても高價なる舶來石鹼が漸次に廢れて、品質本位の花王石鹼が逐年驚くべき需用の增大を告げつゝあるこいふ事實があります。僭越ながら品質本位の花王石鹼は二十有餘年來徹頭徹尾廉價なる良品を以て任じ品質に於ては絕對の純良を期し、價格に於ては極度の廉價を保つて居ますので
帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等の嚴密なる化學的試驗を經て多年採用せらるゝは勿論、輓近南洋、印度、露國等にまで歡迎せられて世界的廉價の良品こ目さるゝに至つたのであります。猶ほ近頃の物價暴騰に際して花王石鹼が優に其の面目を辱かしめないものは、啻に完備せる工場を有し豐富なる原料を蓄藏せるのみならず豫ての御愛顧に酬いんとする一片の苦衷が存することは素より賢明なる需用者各位の諒察せらるゝ所なるべく
かくて品質本位の花王石鹼は
理想的日需品として益々
御愛用の程を切望致します

花王石鹼製造所全景



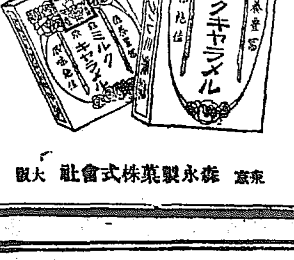
花王石鹼製造元　東京馬喰町　長瀨商會
關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

卷莨
大美代
富士商會
大邱電話五〇六番

タイヨト
萬年毛筆
新案特許三六二九八號
▲六月十五日迄　特價六十四錢　替稅金八錢
京城日報社代理部

內科　小兒科
皮膚病　花柳病
入院隨意
京城日出小學校前
多々見醫院
院主　醫學得業士　多々見五郎
電話九四〇番

商標登錄
ニセモノあり
此の商標に御注意を乞ふ
國産
煙草代用
森永ミルクキャラメル
今日も是非召し上がれ
安心して食べられる菓子



東京　森永製菓株式會社　大阪

汽車時刻表

京城日報　第三版

十四日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所 合資會社 京城日報社　太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

京城論壇

成金の說

小松緑

成金とは、徒手奮闘、事業界の風雲に乘じ、一擧して金滿家に飛び上りたる者を謂ふもの丶如し。此の稱呼は總して一代分限の幸運兒に適用せられたりしが、此の頃は船又は鐵などの冠詞を附し、船の賣買又は海運にて遽かに大金を儲けたる者を船成金と云ひ、鐵の價格二倍三倍に暴騰せるが爲め、意外の巨利を得たる者を鐵成金と云ふもの丶如し。朝鮮にては新たに「タングステン」成金などの冗長にして而かも雅馴ならざる稱呼も生じ來らむとす。其の種類の如何を問はず、成金黨の世に蔓るは、果して歡ぶべき耶、將た憂ふべき耶。

人は必ずしも事の善惡邪正を糾さずして、直ちに其の慣る丶所に僻す。今、世間にて成金と云へば、尊稱に非ずして、寧ろ嘲笑の意となれり。何が故に正當の手段を盡して大金を贏ち得たる者は卑むべくして、祖先傳來の遺封を繼ぐ者は尊むべき乎。予を以て之を見れば、理に於ても實に於ても顚倒の甚だしきものなり。此處に赤手空拳、力を竭し智を揣り、時を制し機に投じ、一時に又は一代に百萬若くは千萬の巨利を博して、俄長者となりたる者あり。彼處に袖手安坐、自ら一擧手一投足の勞をも取らずして、祖先代々累積せる財産を承け繼ぐ者あり。其の孰れが尊くして其の孰れが卑むべき乎。智者を俟たずして判別し得べきに非ずや。

然るに世人動もすれば、三井、三菱の驕奢を怪まずして、大倉、淺野の豪華を譏るは何ぞや。三井、三菱と雖も、其の元祖は必ず今日の所謂成金なりしに相違なし。大倉、淺野の如きも、若しロックフエラー又はカーネギーの如く、一代に作り上げたる巨富を公益事業に擲たば、其の子孫は一代長者たるの苦心難行を繰り返へさゞるを得ざるべし、斯くては其子孫も亦彼等と均しく世間より成金の嘲笑を免るゝ能はざるべし。彼等若し其の子孫をして素封家たる尊威を保たしめんとせば、止むを得ずして、一家の私利を圖るに汲々として公共の利益を藐視せざるを得ざるべし。成金を卑むの惡習は、終に世人をして驅つて悉く一身一家の榮達を是れ事とし、亦他を顧みるに遑あらざらしめんとす。嗚呼何ぞ思はざるの甚だしきや。

予好んで內外の史蹟を耽讀し、人物功業共に萬古に傑出する者を求めて、二人を得たり。一は我が秀吉にして他は米のリンコルンなり。此の二人の者、共に農家に生れ、共に獨力を以て一世の極位に登り、共に百代不磨の大業を成せり。リンコルンは大統領となりて、奴隷開放を實行し世界に人道の眞義を發揮せり。秀吉は太閤殿下となりて日本の國威を海外に宣揚し、覇を東亞に稱ふるの素地を造れり。秀吉一日鎌倉に遊び、賴朝の塑像を觀、進みて其背を撫で丶曰く汝は我が友なり。徒手天下を取りたるは唯だ我と汝とあるのみ。然れども汝は名族を承け繼けり、我が人奴より起りたるに如かざるなり。我遂に地を略して明に到らんとす、[illegible]其の意氣の大、想見すべきに非ずや。

リンコルンと秀吉とは新米、成上りの豪傑にして成豪とも謂つべき人なり。而して他の父祖の積威餘勢にすがりて纔かに名を成したる幾多群雄を凌駕せり。成豪寧ろ眞傑と謂はざるべけんや。

予は此等の眞英雄を敬する心を以て、今の成金を敬するを以て事理に正當にして、且世道人心に裨益する多大なるを思はずんばあらず。但だ今の成金中には富豪と成り上りながら、何時までも下司根性を脫せず、其の富を人の爲め國の爲めに善用するの道を知らざるもの尠しとせず。是れ成金の動もすれば世間に唾棄せられ、紳士肌に容れられざる所以なり。嘗て東京に阿久澤某なる者あり、米國富豪の家に料理人となり、富豪の死して其の財産を日本人の妻に與ふるや、某之を妻として東京に歸り、大廈高樓を作りて豪奢を極む。惡事を働きたるに非ず、個々幸運に際會したるのみ。料理人より一躍し巨萬の金滿家となる、固より成金の一種なり。彼れ吝嗇にして人と交はらず、一錢たりとも、公共の爲に投せず。世人彼を卑しむ大豚の如し。後ち稍々悟る所あり、其の邸內の家屋を無賃にて地位ある人に貸し、以て其の仲介を藉りて世に出でんとす。而して何人も彼に近くを潔しとせざりき。彼れ巨富を抱いて遂に世と相絕ち、金を得るの禍なるを痛嘆せりといふ。斯の如きは世の罪に非ず、自ら招くの不幸と謂ふべし。予は固より斯の輩を推奬せんとするに非らず。彼の如きは成金ならずとも排斥せらるべし、蓋し其の心術の惡しければなり。

今でこそ男爵大倉喜八郎なれ。此の人も一時成金の頭目として、多少世間の嘲笑を受けたることなきに非ず。然るに彼は夙に公共の利益に著眼し、東京其他に學校を設け進みて朝鮮にまでも育英の事業を及ぼしたるのみならず、近頃其の多年愛護し來りたる博物館を獻上して、人文の進歩に貢し、彼の三井、三菱等をして殆ど顏色なからしめたり。其授爵の恩典に浴して素封大家と並肩するに至れるは、洵に故ありと謂ふべし。世人或は曰く、彼の公益を計れるは社會に地位を作らんが爲に外ならず、僞善と謂はざるべからずと。斯の如き名譽を求め地位を作らんとし善事を行ふは、世の指彈を顧みずして惡事を爲すに比して優ること數等ならずや。由來營利を目的とする商工業家を待つに聖人君子を以てするが、大なる間違なり。大倉男と均しく同列に登るべくして登り能はざるもの雙手の指を屈するに遑あらざる程あり。彼等は概ね名も位も棄てヽ、獨り自慾を逞くし、國家の公益に懸念せざるが故なるべし。大倉男の行動は彼等の當さに仰追すべき儀表と謂ふも可なり。今の成金にして悉く大倉男の後塵を拜せしめば、決して成金の多きを憂ひざるのみならず、寧ろ敢爲奮闘の英氣を鼓舞し、公共事業を裨益するに於て思ひ半に過ぐるものあらむ歟。

朝鮮も成金の數に漏れざるは喜ぶべし。鎭南浦に中村兄弟あり、赤手身を興し未だ十年ならずして百萬長者となる。彼れ曩に七萬金を出して敎育の資金に供し、又近頃物集見博士の著述業を援けんとて三萬金を與ふ。世人之に難癖を付け、前者には煩細の條件を附し、後者に對しては抵當を求めたるを責む。是れ亦彼を以て聖人君子視するものなり。彼れに取りては難有迷惑なるべし。彼に對し其の利得を無條件にて棄て去るほどの大量を求むるは、求むる人が無理なり。試みに朝鮮の現狀を看よ、法律上當さに負擔せざるべからざる敎育費すら、其の納入を怠る者なきに非ず。七萬金の敎育資金に條件を附したりとて何かあらむ。金貸業たる銀行すら利子の多寡を嗅なして、容易に抵當貸をも諾るものなきに非ず。貧僑に對し、抵當を求めたりとて何かあらむ、まさかに高利を貪りはせざりしならむ。中村兄弟を責むる者は人の善行を嫉みて己れ之に及ばざるを恨むが故にあらざるなきを得んや。

君子は人の美を濟すと曰ふ。予は固より君子を以て自任せざるも、成金の醜部を排斥すると共に、其美點を推奬せんが爲め、斯の說を作る。但し予を以て何人にも富貴の攫取を勸むる者と誤解する勿れ。不義の富貴は浮雲の如し、淸貧ほど氣樂なものは、又と有るべからず。而し不義に非ずとも、富貴には煩累の絕へず纏綿するを奈何せむ。人若し其の天稟の分に安んじて、其の天職を盡すを得ば、何の富貴か之に若かんや。富は德を積むほど富めるはなく、貴は道を悟るほど貴きはなしと知るべきなり。

花（二）

（第三朝鮮短歌會詠草）

□わが心狂ほへるかな花に來て空虛の如しただ笑ひ居る　京城 靜波

□この心戀を忘れてともすれば散る花愛づる性となりけり　京城 水ゝ花

□かはきたるおのが心の片隅に紅の花み出し喜び
白き花淡き愁ひの我が胸に薄すらしむやうに散りて飛ぶかな　京城 敏郎

□一瓣の薔薇に盛りてうま酒を飲まんとせしが盛れざりしかな
つと浮みパクと呑みたる花瓣を吐きて沈みし大き鯉かな　京城 芳子

□君十六われ十三のうたはれし松葉牡丹の花咲きしころ
花もてるかのアカシヤも夕風にもまれて立てる運命かなしも　龍山 北星

□はるばるに綠野をすぎ茜さす日の本さくら見らくしよしも
毒草はいま紅白の花つけぬともすればわが眩ひ覺ゆる

稀世の逸品金網鑄込タイヤーの出現

タイヤーの强弱を言んとせば
先づ金網鑄込タイヤーを試みたる後

■金網鑄込タイヤーは純良なる原料護謨と强靭なる布質を撰び護謨の中心には特種の金網を鑄込みあるを以て在來品に比して三倍乃至五倍の耐久力あるは確にて硝子其他の破片等により中袋を傷くる憂は更に無し

■金網鑄込タイヤーは各品等級に應じて夫々保證哩數を附し之れに對しては絕對に責任を負擔す

金網鑄込タイヤーと普通タイヤー耐久力比較表

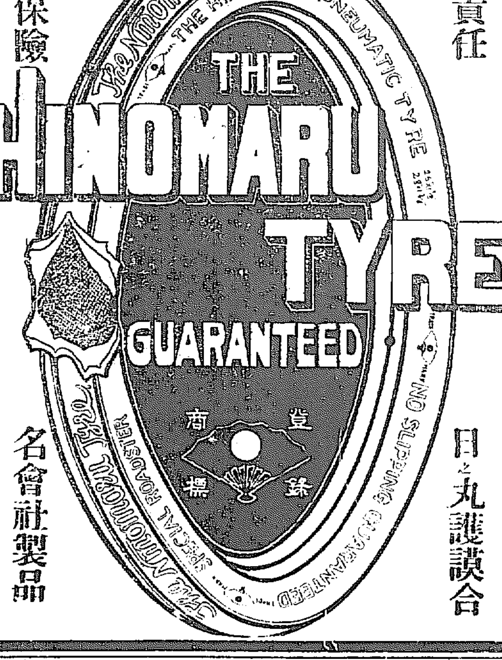
金網鑄込タイヤー

等級	責任保證付耐久力哩數
普通品	六千哩
中品	八千哩
上品	一萬哩
特製品	一萬三千哩

普通タイヤー

等級	耐久力哩數
普通品	一千哩以上二千哩
中品	二千哩以上三千哩
上品	三千哩以上四千哩
特製品	四千哩以上五千哩

責任　保險



日之丸護謨合名會社製品

耐久力試驗方法はタイヤーを人體の重量（二十四貫として計算す）にて壓したる金剛砥にかけ車輪の回轉數により耐久哩數を計算す

■金網鑄込タイヤーの責任を明らかにする所謂、タイヤーの强弱は原料の撰擇と製作の技能とにあり方今販賣者は品質の如何を顧みず使用し得べき年月を保證するものあるも決して當を得たるものにては無之甲は一日に於て十五里を乙は十里丙は五里等其使用哩數に至りては區々樣々なるに是等を同一の期間を以て保證するは無意味にて哩數を保證するコソ眞に其責任を明かにする所以なり

○販賣店は各地著名の自轉車店にて取次仕り候

日之丸護謨合名會社　滿鮮總代理店　京城南大門通五丁目　板倉支店　電話長二七七一番　振貯京城二九〇一
本店 平壤竹典里　板倉商店

金網鑄込タイヤーにて發揮る
タイヤー界の大革命とは

▼滿鮮に曾て例なき最も
嶄新なる奇拔な空袋引換

▲引換區域　京城龍山仁川三市內に限
▲引換期間　當分の間引換致します

■左記何れの空袋にても二十枚御持參の方には抽籤番號を貼付したる敷島一包を差上ます
■之れが一千包に達する每に抽籤の上左記の景品を御渡し致します
■但し引換空袋には朝鮮の封緘紙貼用のものに限ります

引換空袋

口付代表煙として何人もウマイと歡迎せらるゝ上記三煙を推奬致します

景品種目

一等	錦帶一本	一本
二等	小形化粧道具一個	二本
三等	掛時計一個	十本
四等	ニッケルマッチ入一個	十五本
五等	マッチ一包	九三七本

△引換場所　京城明治町　東亞煙草販賣所

御注意
抽籤は豫定抽籤券一千枚に達する每に豫め新聞に廣告して發表致しますから精々御持參御引換の上景品御受取を願ひます

大正四年五月
京城　東亞煙草株式會社

▼三代表煙愛用家の特權
幸運者は何方でしようか

大阪期米特電（十三日）

▲後場强硬 [illegible]

▲休日明け如何 [illegible]

◎支那銀行紙幣取引拒絶

政府は國務院支拂延期令を中國交通兩銀行に適用すべき旨布告を發したる爲め經濟界の恐慌を來し主立たる外國銀行は支那の銀行紙幣を取引する事を拒絶したり(北京特電)

◎北京經濟界大恐慌

北京天津地方は數日前より時局の爲め經濟界に大恐慌を惹起し中國交通二銀行に紙幣の引換を要求せる金額既に二百萬圓に達し國務院は十二日院令を以て大局定まる迄兌換を停止する旨を命令し人心恟々たり此の報安東縣に達するや民心穩かならず依つて警戒を嚴にせるが當地は左まで大なる影響なかるべしと思はる(安東縣特電)

◎駐屯軍長沙に急行

武昌に駐屯せる第十二師團の一個聯隊は十日長沙に向け急行すべしとの命令に接せる爲め不日出發すべし但長沙は最近諸軍と分離し再び混沌の狀に陷れるが如し(漢口特電)

◎取付頻繁

上海に於ける殖邊銀行は十一日より取付に遭ひ警察並に軍隊保護の下に引渡を爲したり(東京某所著電)

◎兩省代表者出發

北京に於ける各省代表者特別會議列席の爲め奉天吉林二省より代表者二名十二日出發したり(安東縣特電)

◎損害賠償の責に任ぜん

華盛頓來電に依れば十日駐獨米國大使ゼラード氏は米國政府に宛て獨逸は新たに通牒を發せんとしつゝありと報告し來りたるが同通牒はサセックス號を擊沈せる潛航艇々長を處罰し且つ損害賠償の責に任ぜんことを申し出でんとするにありと(倫敦電報)

◎獨軍活動頗る緩漫

巴里來電=十日午後發表の公報に曰くヴェルダン地方に於ける獨軍の活動は頗る緩漫と爲り佛軍は他の地點に於て小成効を收めたり(倫敦電報)

◎學士院受賞者

帝國學士院にては十二日午後五時より本年度授賞決定に關する最後の總會を開き院長菊池男第一部長穗積男第二部長古市博士等會員二十五名出席左記九氏に恩賜賞並に學士院賞を授與する事に決定せり

恩賜賞
第一部恩賜賞(動詞調集攷と其の時代に對し)　文學博士　林　泰輔
(假名の研究に對し)　大谷　透
醫學博士　稻田　龍吉
井戸　泰
第二部恩賜賞(黄疸出血性スピロヘータ病に關する研究に對し恩賜賞一個を等分に授與)
學士院賞　工學博士　鳥潟　宇一
鯨井恒太郎
橫山英太郎
北村政治郎
(無線電信電話に使用する電氣震動間隙の研究に對し前記四氏に學士院賞一個を等分に授與)
學士院賞　理學博士　本多光太郎
(鐵に關する研究に對し)
尚右授與式は來る七月二日を以て擧行の筈なり(東京特電)

◎駐屯交代終了

羅南會寧及び國境駐屯交代步兵第七十三聯隊は十二日より十四日に渉りて清津著各任地に向ふ之れにて交代終了す(清津特電)

◎大村少將以下到著

交代羅南第三十七旅團司令部大村少將以下幕僚は十三日朝壁北丸にて清津著市民の歡迎を受け直に羅南に向ひ正午羅南軍營に入れり(清津特電)

◎總督巡視　清州發公州に向ふ

寺内總督は十三日午前七時三十分既報の如き順序にて清州各所を巡視し午餐會の後二時三十分同地發郊外な

◎敵船擊沈

[illegible]

咸北國境にては牛疫流行し初發以來既に四五頭を出だしたるを以て當局は極力防疫に努めし居れり([illegible])

◎燕岐郡廳にて官民に接す

る同種苗場農學校を視察して鳥致院に向ひ廣益殖産會社農場に立寄り燕岐郡廳にて官民に接見し五時鳥致院發小原忠南道長官其の他出迎者を隨へ六時公州著錦江橋畔に出迎へたる多數官民團體よりの敬禮を受け懇ろに應接しつゝ小原道長官々舍に入れり(於公州中島特派員特電)

◎養蠶界殷賑

内地にては過般信州、兩毛地方を中心として著しき結霜あり、爲めに桑園に甚大の被害を與へたるは既記の通りなるが朝鮮にては春季以來天候概して順當なるを得、桑樹の芽付、近年珍らしき好況を呈し、七八日の暴風冷氣の爲め若干其發育を遲延せしめたる地方なきにあらざりしも大體に於て被害と認む可き地方なく南鮮地方に在りては蠶兒の掃立期前年に比し三四日の遲延を見、目下其の最盛期なるが、西鮮地方は之れに反して前年に比し三四日早く二十日頃を中心として發生の見込なれば要するに本年は例年に比し各地の掃立期相接近せる譯にて收繭の統一上多大の便を得可く、尚ほ今後天候適順ならむには桑葉の生育益々良好を告げ蠶作は稀有の豐饒を見るべきのみならず朝鮮繭の主要取引地たる信毛地方春蠶の非況は愈々朝鮮繭の賣行を良好ならしむべしと觀測さる

◎東拓移住費貸附

東洋拓殖會社にて既住移民に貸附けたる移住費中第一回より昨年渡來せる第六回迄の分左の如し

一回	一〇、三三一、一三	四回	五一、八〇〇、〇〇
二回	四一、八四一、六三	五回	三一、三四〇、〇〇
三回	七四、六六五、〇〇	六回	一九、三〇〇、〇〇
計	二一三、一一〇、八六		

乃ち二十一萬三千百十圓餘なるが移住戸數の最も多數なる第三回七百四十七戸に對し七萬五千八百圓第四回六百八十戸に對し五萬一千圓に及び二回分にて總額の五割以上を占め居れり更に之れを各出張所別にすれば左の如し

京城	二四、三六〇	大邱	二二、八三〇
水原	二一、四三五	馬山	四三、〇八八
江景	一七、六一〇	沙里院	二五、九八〇
金堤	二六、〇六一	平壤	一、八〇〇
榮山浦	二九、九四六	合計	二一三、一一〇

而して本年渡來せる第七回移民に對する貸付は三萬五千八百四十八圓八十五錢にして其の戸數三百七十一戸なり尚ほ其の回收は据置期限たる五年を經過せる者未だ第一回のみなるに付約三百圓に過ぎずと

◎仁川金融狀況

四月末不振沈滯の裡に彷徨せし米價は中旬阪地好調を告げたるに由り移出筋多少の活躍を示したるも概じて前月と大差なく資金の需要多からず獨り牛皮のみは上皮拂底の爲め買進み來りたれば此方面は資金の移動稍見る可きものありたるが如し[illegible]て輸移入商は曩に先高見越にて被服品等の先約品の入津巨額に上りたるに反し地方賣行は近來捗々しからず手持筋は少なからざる在荷を抱擁して爲替決濟資金の調達に困しみ稍資金逼滯の氣味ありて各移入商の手許著しく緊縮の狀態に陷れり之を貿易に就て前月と對比し見るに輸移出にては十一萬七千餘圓を增加し輸移入にありては六十六萬四千餘圓を激減せり蓋し中旬阪地向の移出多かりしと金巾類の入津激減したるに由れり尚同地四銀行の預金貸出殘高は前月に比し預金は十一萬七千餘圓貸出は十七萬三千餘圓孰れも減少を示せり貸出の減少は主として三月限定期受渡米の大阪へ移送せられたるものありたるが爲めにして輸移出增加も主として之れに因す要之未だ米況不振の折柄一般商況は依然として沈靜裡にあり資金の需要大ならず

[illegible]動搖となり革命黨來襲、奉省獨立宣言などの風說傳はりて民情の騷擾を來たし延いて商取引に影響する所深[illegible]なれば輸入者側は好機逸す可らずと頻りに輸入を急ぎ是れ迄買控の支那人側も[illegible]は正に活況に入らんとし麥粉亦相當に商況運ばんとす只だ砂糖は常に[illegible]を利用し我商權の擴張を圖るの最好時機なる可しと云ふ

▲議會代表者　北京政府は時[illegible]人選中なるが多分軍署秘書孫鼎臣[illegible]

▲貨幣多數急造　奉天官銀[illegible]急造すべしと

◎逃走中取押へらる　京城黃金町二丁目二十八番地居住加來與十郎(二〇)は[illegible]五十錢を臨著し又諸方より集金したる染物代金二圓十錢を橫領仁川に逃走し市中を徘徊中に仁川署の巡査に[illegible]

◎各道と郵便貯金

朝鮮郵[illegible]貯中內地人貯金高は京畿道の百五十五萬六千餘圓を始めとし慶南、全南、平南慶北等の順序を爲し忠北の十四萬四千餘圓に終り朝鮮人側に於ては京畿道の三十六萬六千餘圓を最高とし慶南、全南、忠北、慶北等の順序となり咸北の三萬八千餘圓に終れり此等預金額の多寡は人口の稠密如何に因ること多しと雖も亦富力の程度貯蓄心の如何をも知るを得べしと

◎昌德宮正門の道路

京城昌德宮正門より黃金町に至る京城市區改正主要幹線道路は既に敷地の買收終了し目下家屋の取拂ひ中なるが土木局京城出張所にては家屋取拂ひ終り次第路面の地均しをなし其の道路工事は明年度に施工すべしと

□工業地としての京城　必然發達の望あり

京城商業會議所は曩に京城に於ける一般工業獎勵の一策として其獎勵案を懸賞法によりて募集したるが京城に於ける一般工業の現況を調査するに、京城に於て自作の製造工業品は未だ幼稚貧弱にして單に一部需要者への供給に充つるに過ぎざる次第なり而して貿易の情況に就て見るも內地を始め諸外國に供給するものは牛皮脂の如き工業原料品を主とし製造品は近來少額の煙草を見るに至りたるのみにして其額甚だ僅少なるに反し移輸入品は工業製造品大部分を占め其價格亦一千數百萬圓に上り居れり

▲現在の製造工業　近來內地人の增加に伴ひ各種小工業の開始を見つゝあるも其產額未だ振はず、我京城の如きは現在に於て一般製造工業に關しては大工場の經營法に依り相當の規模を以て事業を開始し市內在住三十萬の住民を始め鮮內各地に輸移入し來る工業製造品の代用物を製出し得可きもの尠からざれども前述の如く幼稚なる時代にありては家庭的なる小工業より創め逐次大工場經營の方法に至るを順序なりとす京城府にて前年調査したる京城工業の一般情勢を見るに假りに原動力の使用其投下資本金五千圓以上製造時期に於て一日平均五人以上の技術者職工等を使用するものを工場と命名する時は工場數五十八資本金總計七百八十二萬九千餘圓技術者二百數十人職工六千三百數十人原動力發生機關數五十五臺、生產品價六百二十七萬九百餘圓なり

▲水陸交通の利便　右は一見非常に工業旺盛の如き感あるも其大部分は二三大會社の統計數字にして一般工業品としては僅々年額二百萬圓に過ぎず、然れども京城は釜山仁川の滙運、大邱大田等の地勢の便を缺ぎ居れども半島鐵道の中樞地にして將來鐵道網の分布建設につれ一方蜿蜒たる漢江長流の利用等共に水陸の便は地勢の不便を補足して餘あり況や總督府の所在地として主務官署との交涉聯絡或は智識階級の淵叢たる研究機關として工業傳習所、工業學校の如き設備、勞力の豐富、原料蒐集の便、補助機關の發達、販路の廣大等鮮內各地に比し優越なる點擧げて數ふ可からず

▲商業の補助機關　殊に商業上の補助機關として銀行業、倉庫業、運送業、保險業は工業の經營に必要なる原料の仕入生產品積送代金の收受等に關し極めて重要なる機關なるが近來漸次發達の兆あるは實に喜ぶ可く若し將來在住民の努力により自己の資本によるか或は內地の資本團を誘導し來りて相當方策を講ずるに於ては自らにして著しき發達を爲し來るべきは瞭なり

◎大阪財界通信

▲引上船舶と解船　近時沈沒船引上作業頗る盛況を呈し居れるが右は鐵價の暴騰により不引合なりし引上作業も大に有利となりたるに因るものにして此の趨勢にて三年を持續せば近海附近の沈沒船は殆んど全部引上げ得べき見込なりと因に之等引上船舶の解體に付ては相當の資本を要すること困難なれば玆に一大解船會社を創立すべしとの議阪神同業者間に唱へられつゝあるも未だ具體的成案を發表するに至らずと

▲黃燐共同販賣　黃燐燐寸同業組合にては中山書記長の提案により阪神間を通じて十八萬噸內外の製產力を有するも本年に入りて商況頗る不振なるより漸次生產減を行ひ需給の調節を計りしも不成功に了りしを以て共同販賣所を創立し競爭濫賣の弊を矯正する筈なりと

▲運賃低落趨向　船腹の不足は自然運賃の暴騰を演じたるが而も一時百四十志たりしもの昨今百志に低落するが如き次第に低下の傾向を生じ來れるが尚今後に於て如何なる趨勢の下に支配さるゝかは今遽に速斷は許されざるも凡そ左の三點より之れを推知するに足る第一英國の必需品の禁輸は他に理由あるとするも主因と見るべきものは船腹の調節より出でたるものとするが至當なるが如し第二一時梗塞されたりし巴運河も復活し自由に就航の運となりたるを以て之等航海日數の輕減を計り得ること第三伊太利に於て拘留せし獨逸汽船を自由に使用し得ることゝなりたること等より見るに今後に於ける船腹は左までの不足を告ぐるに至らざるべく自然運賃等も下向となるべしと某消息通は語れり(大阪支局發)

人事消息

▲竹山純平氏(第一銀行重役)　十三日夜入京天長俟へ
▲武川盛次氏(鮮銀元山支店長)　十三日夜入京不知火旅館へ
▲エルダー氏(米國實業家)　十三日夕入京朝鮮ホテルへ
▲ツルューリー氏(同)　同上

南言北語

高木兼寬男の國民の體力に關する議論は鳥渡紹介して置たが▲同男は昨今東京市內の小學校を廻つて熱心に例の無帽子主義を說いて居る相な▲其の演說が頗る振つて居て兒童の判り易い樣に種々な繪を持ち出して帽子を冠ると此の繪にある通り顏が蒼くなる、靴を穿くと早世をする▲盛に歐化排斥を吹き込むので數師連は大に恐縮して居ると云ふ事だ▲山口縣知事黑金泰義君と云へば名前を聞くと例の日比谷事件を聯想されて却々の亂暴者の樣に聞ゆるが▲其の實見かけによらぬ人で旅行の時には鞄に鳥渡遊ぶ時は懷中に、如何な場合でも人形を潛ませて居る▲何の禁厭かと聞くと四十幾歲の今日迄未だ一人の子供もないので子供欲しさは餘りだとは顏に似合ぬ優しい人だ▲其れから酒を飲むとメソ/\泣てばかり居るとは之れは惡口かも知れぬ▲原政友會總裁が今度俳句集を印刷に附して同好の士に頒つと云ふ事だ▲之れを聞いた某政客は「眞面目な嘲しでもあるまいがアレを出版とは聊く此の紙の高いのにね—」▲イヤ其れは廢苦集と命名する相な▲京城でも近來名士の雅句が澤山ある樣だから出版しては何うだらう▲と云つたら立派な廢苦集の出來る事は受合だと惡まれ口を叩いて居た人もあつた

商業登記公告

東亞煙草株式會社ハ大正五年五月壹日各新株ニ付キ金拾圓宛拂込ヲ結了シ各新株ノ拂込金額ヲ金四拾五圓トシタリ
右變更ノ登記ハ大正五年五月拾日登記

合名會社設立
商號合名會社盛文堂、本店京城府太平通貳丁目拾番地、目的諸新聞紙ノ販賣、設立年月日大正五年四月拾日、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格 京城府[illegible]

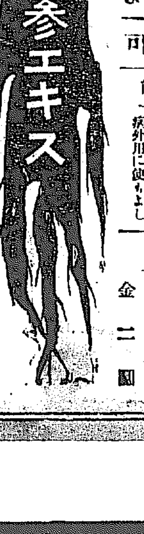
右大正五年五月拾壹日登記

朝鮮實業株式會社ハ大正五年四月拾日會社目的中「鑛業」ノ一項ヲ追加シタリ
同會社監查役大場長平及渡邊眞通ハ任期滿了ノ處右同日重任シ且左記ノ者當選同日就任シタリ
香川縣高松市古馬場町貳番地　鈴木錢次郎
右大正五年五月拾貳日登記

京城地方法院

M EP 名果大賞牌改領 コマツリ

▲開店廣告
今般弊店儀擴張の爲め左記の處に洋傘專門の販賣店として洋傘のみ分店致し特別廉價を以て販賣仕る可く候間相變らず本店同樣御引立ての程奉希候
京城本町壹丁目本店より五軒目西
支店　まからんや
京城本町壹丁目(電話四七番)
本店　まからんや



人蔘エキスは下記諸病に特効あり御愛用の上精力を增進せられよ
總督府認可
特効能
神經衰弱、老衰、腦病、肺病、腎病、子宮病、胃腸病、發育不良より起る諸病外用に使ふもよし
定價
金三十五錢
金六十五錢
金一圓二十錢
金二圓
開城白蔘尾蔘大販賣
人蔘製造
人蔘菓子
人蔘飴
朝鮮土產一切
京城本町一丁目郵便局橫　電話一四八〇番
製造發賣元　津村兄弟商會

日韓書房
新版報告
竹越與三郎著　增補訂正　二千五百年史　定價二圓 送料十八錢
社會政策學會　社會政策より見たる稅制問題　定價一圓廿錢 送料十四錢
大町桂月著　傑人佳人　定價一圓十錢 送料八錢
紅葉山人著　不言不語　定價五十錢 送料六錢
二葉亭著　其面影　定價五十錢 送料六錢
京城本町二丁目　振替口座五四一二　電話一二七五番

材木商
樫、欅、朴、桂、杉杢、杉柾、鴨綠江材、各種
京城府岡崎町
須川商店
電話(龍)四三四番

サクラビール
新時代の代表的好飲料なり
御愛飲を冀ふ
■壹本宛買ても景品券が貰へます
京城南大門通二丁目
神戸　合名會社鈴木商店京城出張所　電話二九二四

◎國境牛疫流行

▲市況漸次好調 客月下旬は……新舊將軍交迭の政變に伴ふ官界の大……に活氣を呈するに至り又過般來騰貴……を餞けしが銀塊相場は益々騰貴一方……拘らず三十九萬の輸出ありて本年度……に於ける最大レコードを造り綿絲布……の上よりせば今や漸く恢復の境にあ……るものなれば近來未曾有の銀塊高値……近民政務卿より其選任方を奉省に……命し來りたるを以て張將軍は之れが……に托して現貨數萬元を鑄造したるが……其他銀行も亦た同樣に多數の銀貨を……和町染工場南里増太郎方に被雇中……人増太郎より買物の爲め預りたる金……

◎交戰國を巡り來て
有髯の美人　獨逸贔負の瑞典
=營林廠技師=今川唯市氏談

露國は此の戰びに對して充分にまだ準備の整はなかつた事は蔽ふべからざる事實である併しながら彼等は怖れず騷がず悠々敵に當り最後の勝利を收めようとする意氣込を示して居る露西亞は平素反政府の地方や團體の多い國であるが今回の大戰亂勃發以來案外平穩無事で

擧國一致の態度

を以つて敵に對かつて居る最も危險視されて居つた芬蘭の如きも自治に甘じ母國の爲めに國境守備を嚴かにして居る芬蘭は極めて自治制の發達した處で一切の政治機關の組織社會狀態等凡て露國と異つて居るばかりでなく通貨まで悉く違つて芬蘭だけで通用するものを使て居る兎に角今回の戰亂に對しては露國內の各民族と共に比較的熱心に母國の爲めに戰捷を祈つて居る又標悍を以て鳴つて居るコサツク兵も高架索騎兵も悉く

母國の爲めに

奮鬪を續けてある、露國を去つて瑞典に入ると此の國は又極端なる獨逸贔負の國で一寸繪草紙屋に這入つて見ても獨帝カイゼルや獨のヒンデンブルク將軍などの肖像は最も大きく正面に掲げられてあるが佛のジョッフル將軍や英のキッチナー元帥なぞの肖像は小さく片隅の方に押し込まれて居る瑞典人と戰爭の話をすると必ず獨逸軍の非常に強い事と連戰連勝の勢である事を誇大に吹聽し讃美する子供の雪投げでも

獨逸軍に擬した

方は何時も勝つて協商側の方は毎に敗北する事に極まつて居る瑞典は體育の最も盛んな處で有つて殊に不思議な程女子の體育は發達して居る、ストツクホルムには女子の體操學校が有つて歐洲各國から多くの婦人が茲に留學して居る此の學校を卒業すれば皆それぞれ體操教師に爲る資格を與へられるそれで各國から留學の女學生には隨分お轉婆が多い樣子である私が或日

ストツクホルム

を歩いて居ると前の方に大變に樣子の好い婦人が行く美しい髮、眞白の耳襟足、細そりとした撫で肩、嫋やかな腰など如何にも美術的に出來て居る如何なる美人であらうかと前に廻つて見ると成程顔貌の好い女ではあるが驚くべし鼻下には立派は八字髯を蓄へて居る最も此の時程立派な髯女は無かつたが其後は各地で屢々有髯の女を見受けた人種の關係もあるには相違ないが男性らしく爲た

女の心理作用は

遂に斯んな風に髯まで生ひる樣になつたのであらうと思はれる瑞典はチウトン人種であるから英佛なぞのラテン人種に比すると非常によく働くが殊に婦人が家庭に於ても他に出てもよく働く一寸宿屋などに泊つて見ても女將から下女に至るまで抜目なく身を働かせて客に便宜を與へて呉れる之れをお嫁に行つて働く位なら離縁して獨身で居る方が好いなどと云つて居る英米佛などの婦人が見たならば

定めし驚く事で

あらうと思ふ一體瑞典を始め獨逸露西亞等の社會で婦人を取扱ふ樣子は頗る日本に似て居る所が多い而して此等の國々は婦人天下の國々よりも男子が元氣に富んで婦人は一般に貞淑温良であると云ふ事實を發見したこれは將來日本などでも大いに講究すべき問題ではあるまいか(つゞく)

◎大掛で僞造染料を鬻ぐ

淸津地方には近來南方より僞造染料の鮮人行商入り込み大掛りで賣り歩き居る形跡あるより其の筋にては捜索中の所本月八日淸津新岩洞に於て平安南道安州郡李得英(三九)同肅川郡金龍碩(三)全羅南道榮豊郡崔成七(二八)咸鏡北道城津郡金達則(三六)の四人を同犯罪者として檢擧取調べたる結果渠等犯罪者が携帶せる染料は多量の澱粉中に眞正の染料少許を混じ之を染料空罐に入れて多く田舍を行商し需に應じて十錢二十錢と販賣するものにて僞造染料は其色澤外觀恰も眞正染料と異る事なきも眞正染料の如く手を染めず又た之を使用するに全然効果なきものと判明せり尙ほ犯人は何れも咸南地方より來りたるものなりと(淸津)

◎支那帆船沈沒
船底を破らる　引揚見込あり

十一日午前十一時德積方面の海上にて戎克船遭難せる旨急報に接し仁川警察署より稅關ランチ第一宮丸に石巡査淸石通譯を乘らしめ遭難地に向はしめたるが遭難地點は京畿道富川郡堀業島西北にて遭難船は支那戎克形帆船(噸數六十六噸一九)にして船長を王長裕といひ本船は生鹽二十萬斤を滿載して本年四月三十日山東省石島を出帆し仁川に向つて航行中五月七日午後二時頃より西北の暴風に出合ひ遂に進退の自由を失ひ前記堀業島に吹き付けられ岩石の爲め船底を破り沈沒したるものにして全部の損害千百六十四圓餘なるが船體は引上の見込あり乘組員十五名は幸ひ無事なるを得たりと(仁川)

◎山林十三萬坪の燒失

去る四日午前十時平南价川郡內東面雲興里及び立石里所在平谷山より發火して後德山に延燒し國有林約九萬坪民有林約四萬五千坪合計十三萬五千坪餘を燒失したるが發火の報を得たる价川憲兵分遣所に於ては直ちに憲兵二名補助員三名急行すると同時に里民數百名一同必死となりて消火に努めたるも此日西風激しく火勢猛烈にして消火の途立たず翌五日午後六時漸く鎭火したる由なるが損害は約四百五十圓位にして發火の原因は放火の疑あり目下取調中なりと

□五月場所入幕力士

十一日發表の新番附にて入幕せるは敷島明石紅葉川、稻葉嶽、梅川、玉の川の六力士なるが其中新入幕は左の四力士にて梅、玉は歸り新參也

▲敷島猪之助(三十) 同力士は富山縣上新川郡新庄町字新庄持田七五郎の長男、三十九年友綱部屋に入門し四十三年幕下となり四十四年一月十兩に進み今回愈々入幕身長五尺六寸五分、體重二十六貫、温厚にして稽古に頗る熱心なり

▲明虎吉(二十六) は熊本縣飽託郡西里村字萬樂寺農田尻德平の五男明治四十一年五月司家吉田追風氏の世話にて八角(大鳴門)の弟子となり錦山と稱し前相撲より取り進み序二段の時明と改名したがそれより三場所も全勝を續け本年一月十兩に躍進し更に今回入幕せり身長五尺七寸八分體重二十八貫西方の重鎭となる

▲稻葉嶽光之助(廿七) は千葉縣東葛飾郡行德町字湊川五百五郎の二男四十三年四月出羽海の一門湊風の弟子となり大正二年五月幕下同四年一月勝放しにて十兩へ入る身長五尺七寸體量二十七貫右四ツを得意とす

▲紅葉川幸一(二十二) 埼玉縣北埼玉郡共和村字荒井、岡戶五右衛門の次男明治四十二年三月名行司勘太夫の世話にて友綱部屋に弟子入りし翌年五月初相撲より取り初め大正三年春場所幕下に昇り一昨年來技術並に力量共に著しく長じ小兵乍ら拔群の成績を以て十兩に入りしは四年の一月なりしが今回更に入幕の榮譽を得るものなり得意は例の一手なり

新入幕力士=(上より明、稻葉嶽、紅葉川、敷島)

◎鐵道倶樂部の庭球戰
白軍勝を占む

鐵道倶樂部庭球部にては十三日午後一時より新龍山電車終點橫のコートに於いて同倶樂部一二流チーム二十餘組の競技を擧行したり始め各組の競技順序を抽籤にて定め

鐵道倶樂部の庭球戰

▲五人拔の決戰を行なひたる結果一等矢野、井田二等大塚、高松(明)三等市川、永海、四等宮本、松江の各組優勝にて入賞し五時より紅白勝負に移りたるが此の時秋山兄弟(東拓)岡部(陸軍倉庫)各選手の來會するあり紅軍岡部、秋山(兄)

▲白軍矢野井田 各組以下八組宛にて紅白勝負を行ひ別項の如く紅軍善戰して勇退二組を出したるが白軍奮躍して中川(久)高橋(明)及矢野井田の二組相踵で勇退し最後に勇退兩組決戰の結果白軍勝を占め競技を終りたるは七時半にして紅白試合中秋山(弟)永田(紅)對中川高橋(白)の岡部秋山(紅)對矢野井田(白)の

▲一流選手に於いて紅組宛よく戰ひたるも白組に乘せられたるは遺憾なりしなるべく當日は京城電氣鮮銀各チームより參會の筈なりしも都合上不參せるが見物非常に多く近來稀れなる盛況なりき

紅組	白組	紅組	白組
×本田 渡瀬	×○松浦 原口	勇退 八反田 兒玉	後藤 大戸
×○村上 松江	×勝田 山島	×井田 稻本	×○木村 池田
勇退 人見 佐々木	×石原 永海	×○上田 高橋昌	×大塚 中川
永田 秋山弟	勇退 中川久 高橋明	岡部 秋山兄	勇退 矢野 井田

勇退組決戰

紅組	白組	紅組	白組
八反田 兒玉	○中川久 高橋明	大塚 佐々木	○矢野 井田

城壁廻り
愈々今日です
午前七時三十分に漢陽公園で三發の煙火が揚つたら南大門に
お集り下さい

◎星島議員選擧違反判決

岡山縣貴族院議員星島謹一郎氏の選擧法違反事件は公判の結果星島、西本の二名は無罪他は禁錮二箇月又は三箇月(中には執行猶豫もあり)に處せられたり(大阪特電)

◎分離巡業
小部屋は反對

大部屋で主張してゐる分離巡業問題に對しては角道懇話會などの有力者が反對してゐるが何しろ相撲社會では大部屋が云ふ事なら必ず實行を見ると云つても好い位であるから小部屋連の年寄や力士は昨今寄々對分離問題に就て

▽種々談合最中 である今右に關して某々年寄の談を聞くに分離も好からう併し小部屋に取つては好い事もあれば惡い事もある國技館の本場所と弟や其他の上り高を貰つて居る分には弟子を一人も有たずに居て巡業に出すとも暮して行けるそれは我々年寄と雖も取締同樣株金及び加入金合せて三千圓も拂つて利益の分配を受ける權利を有つてゐるのであるから、然るに分離巡業を發ら主張しても猶且經濟は

▽本場所と混同 する事を避けられない今の營業方法では本場所の配當は自然喰込まれて興行損失の場合には上下一列に百圓也二百圓也の負擔を仰せ付けられる乃です愈々分離とするには國技館と地方稼業との經濟とを全く別にしなければならないのです大部屋は去年の巡業に於て三千圓も喰ひ込んだと云つてるが私等の小部屋(十五六人)もアノ時は千五百圓も損をした

▽損と云ふ程度 を云ふならば小部屋は大部屋の比ではない加之に分離となつた揚句は狹い日本だから何地へ行つて競爭で橫綱の相撲でも二十錢三十錢と云ふ木戶料にすれば中相撲は意地でもロハなどにせてはならない、其結果は角道の墮落衰微となる事は明だ既に東京相撲組合と云ふ團體を認めたからには共同たるべきが至當ではないか況してや多額の

▽組合加入金を 出し合つて居るものを小部屋なるが故に稼業を共にせぬと云ふは不條理極まる依つて我々は法律の力を藉りても此不條理を打破しなければならない又充分法律問題として爭ふ丈の理由は在る、と非常な勢ひである(東京)

◎黑川檢事長列車中で重傷を負ふ

大邱覆審法院檢事長黑川穰氏は十二日寺內總督を金烏山まで見送り歸途午後十時大邱驛著の列車が新洞大邱間進行中突然激動をなし左肋骨を打撲屈折直ちに大邱慈惠醫院に入院したるが治療日數約三週間を要すべし列車激動の原因に就ては目下調査中(大邱)

◎無錢大盡

大阪市西區梅本町二丁目當時京城蓬萊町二丁目居硝子工裵田政吉(三二)は九日夜黃金町三丁目飲食店舘某方に至り大盡氣取りにて酒肴を命じた揚句無一文と分り本町署に引致さる

◎仁川校旗授與式

仁川商業專修學校々旗は十四日仁川各學校聯合運動會々場に於て久水仁川府尹より熊谷同校長に授與し終つて同校生徒の分列式を行ひたる後發火演習を行ふべし

京城府告示第九號
京城府以外ニ於テ府金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ場所及其ノ期間左ノ通定ム
大正五年五月十一日　朝鮮總督府府尹　金谷充
一定時　京城府龍山出張所內　榮町
一臨時(自五月十一日至八月十五日期間)　京城銀行內　本町二丁目　高陽地方金融組合構內　竹添町三丁目

京城學校組合告示第九號
京城學校組合以外ニ於テ學校組合金庫ヲシテ收納事務ヲ取扱ハシムヘキ場所及其ノ期間左ノ通定ム
大正五年五月十一日　朝鮮總督府府尹　金谷充
一定時　京城府龍山出張所內　榮町
一臨時(自五月十一日至八月十五日期間)　京城銀行內　本町二丁目　高陽地方金融組合構內　竹添町三丁目

京日案內
普通(一回前金三十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢增)
番外(一回前金六十錢無割引)(匿名一回毎に金五錢增)
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通
▲集金人募集す 希望者は履歷書携帶至急來談あれ 京城太平通 朝鮮公論社 436
◎代診生に被雇たし小兒科內科に經驗あり田舍にても差支なし 京城櫻井町一の四九富田鶴吉內 島本豐彥 440
狂犬病豫防注射を犬猫牛馬等に施す時は本病に罹らず 南山町二の六 電話六九三 京城狂犬病豫防注射所 441
▲獨文醫學叢書 全十五冊もの ▲古本出物あり ▼▼ 京城本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 158
▲見習看護婦入用身元引受人を要す 京城本町三丁目壽座南隣 伊藤耳鼻咽喉科醫院 438
松榮堂 新雜誌廻讀會の特色 新古本の貸本 買受交換割引 電話一三七八 京城本町一 430
男女外勤員採用月給貳拾圓外に歩合を給す希望者は履歷書携帶本人來談 花園町一二二 帝國圖書普及會支部 422
古本無比高價買入勝堂の勉强を乞ふ御試賣を乞ふ御報即刻參上 京城本町四 電話二七八一番 書肆 群書堂 199
但馬特產柳行李並に古本賣買所 右今般新規開店特別大勉强 京城本町三丁目 但馬屋號 428
昆虫及植物採集用具特價販賣 京城壽町四 電話二七六〇 回天堂教育品部 421
▲キヤラメル 京城藤商會のキヤラメルは滋養に富む ▲人蔘キヤラメルに限る 413
◎明治町フランス教會正門前 ◎電話三五九五番 ▲ホ子ツギ ちみくじき治療 荒川仁壽堂 180
◎古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 電二六三六番 野村書店 142
◎讓渡果樹園城外南梨桃約千五百本植付後六年成績頗る佳良希望者は可成往復端書で照會あれ 姓名在社 404

番外
はりやいと 術專門 日影一三三 旭町三丁目十三番地 取次電話一三〇八番 432
電話開通 一四六二番 ◎建築くり物 ◎ロクロ細工專業 ◎諸車ロクロ製造 京城永樂町二丁目 赤門通 ◎上山ロクロヤ(電略カミ) 409
女學講義錄 三妃殿下の台覽を辱ふする名譽の新學期修業申込次第規則書進呈最好の自修女學 京城觀水洞 大日本實修女學會支局 132
年金恩給 融通 短期 無保險 確實 地方照會あれ 迅速 詳報 京城武橋町二三番地 電話二二八三 京城日報社北方一丁 國江商會 144

各眼病 眼鏡專門 眼科醫用達 宮川大學堂 京城黃金町 振替京城壹壹貳九 160
本店新製 クリームキヤラメル 大十錢 小五錢 元祖木村屋支店 京城明治町 電話二八七〇 176
蜜蜂注文の好時機 カ種一群十五圓詳細は照會あれ 湖南線羅州局區內泉洞 湖南養蜂場 185
玄米乳 玄米糖化の先者にて於東京醸酒大會一等賞受領 新製 京城 414
看護婦募集 但し調劑の經驗ある者 年齡廿五歳以下市內に確實なる保證人を要す希望者は履歷書携帶午後本人來談 京城壽町 島崎病院 439
恩給 年金 立替 地方拂教員巡査退隱料長期四年半迄千圓以上特別契約 電話一一三一 博多屋本店(京城櫻井町六正館向) 192
鑛山用機械類並探鑛用具 マグネット新荷著 京城南大門外 電話二九四〇番 京儕商會 417
分拆 鑛物各種(迅速正確) 京城太平町二の二〇 朝陽分拆所 424
酒煙草きらひになる藥 嫌酒丸 嫌煙丸 禁酒禁煙 大深博士の禁酒禁煙論進呈 其他名士の… 郵券二錢送れば說明書及… 大阪市東區 森田商店本舖
タングステン 手廻機鑛機及大マグネット 中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て鐵工界に金牌を授與され朝鮮唯一の光榮を得たる最初の受賞者 京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

新刊書御案內

書名	著者	定價
鐵筋混凝土工學	阿部美樹志	二、五〇
實驗和洋梨栽培法	恩田鐵彌	二、三〇
禪と日常生活	山田孝道	八〇
醫界珍聞錄	杏林博士	四五
歌の作り方	金子薰園	四八
黑田如水傳	金子子爵	二、八〇
諸山手ほどき	正木梅香	一、二〇
人及び女として	晶子	一、〇〇
東京紅燈集	吉井勇	六五
紅樓夢	岸春風樓	一、〇〇
駒のいなゝき	巖谷小波	九五
經世情話	熊谷春草	五五
紅燈ロマンス	白河夜舟	七五
手紙風呂	小山內薰	四〇
仇情	吉井勇	四〇
八の馬鹿	三重吉	五〇
日本征服	樋口麗陽	八五
電氣工學重要問題解答	江藤蔣角外一名	一、〇〇
青年義勇團興村の指導	寺井勝次郎	八〇
哲窓茶話	井上圓了	四〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三番

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正潤

生千瓢 (211)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫 (十二)

侍共が決心の色を見て、氏重は愈々其意を固うした。「察する處、此事小牧山にては定めて御存じ在すまい。さらば、我等こゝに敵を喰ひ止めて、奮戰して討死を遂ぐるならば、小幡へは其砲聲相聞ねて、忽ち此企ての相知らるゝ事と存ずる。小幡に知らるゝに於ては彼處より小牧山の御本陣に注進致さぬ事はあるまい。此際の考へもはや此外にあるまいぞ」

氏重は斯う言ひ斷つて、一順諸將の面を見渡した。侍士共は孰れも決死の色を示して「若殿御覺期なさるゝに、我々やはか後れ參らせ申さう。御先をかけて敵中に亂入し、屍を鋒鏑に横ふる事は、豫ての覺悟おざりまする」と異口同音に快諾する。之を聞いて氏重は潸然と熱涙を注いだ。「兄氏次の斯くと承はらうならば、如何ばかり嬉しう思はるゝであらう小牧山の御陣に相詰め居る身の、其の方共と生死を一つにせぬをば、後にて嘸や口惜く思はるゝであらう。然らば主從打倂れて、今日を最後の血戰仕つらう」

「來世までも御供仕つり、決して二心は存じませぬ」

「おゝ過分ぞや、方々」と氏重は掌を以つて兩眼を抑へた。

「左樣に心一決する上は、此小城に楯籠つて敵を待つ要はない。我が方より進み出て、路の切所に備へを立て、如何もして敵を喰ひ止め、最後の一人と相成るまで、屈せずして戰ふと致さう」

隣郷長湫の領主加藤忠景、此時初めて應援として此城に詰めてゐた。口を開いて、一議を立てたのであつた。

「それ最も然るべうおざる」と同意したので、其議は忽ち一決した。

是に於て城中の諸帳簿を焚き盡し、生きて復び還るまじき大手の門を八文字に開かせて、愈々最期の戰場に馳せ向ふ。大將丹羽次郎助氏重はまう十六歳の若武者とて、この初陣を最後と思へば、白糸縅の大鎧に、天衝の前楯した兜を頂き、緊く結んだ忍びの緒を、弗りと切つて棄て、黒毛の駒に黒鞍置いてうち跨り、穗長の槍を脇挾み凛然として立ち出づる

これに隨ふ郎等は、主從僅に四十三人、射手三十人、步卒六十人、奴僕七十人、工匠商人の入城して、倶に死を樂ふ者三十餘人、總勢撰つて二百五十には尚足らぬ小勢ながら、二萬と聞ゆる大敵にうち對つて、怯ともせぬ壯んな士氣は、實に賴もしいものであつた。

夜は暗し、霧は深し、潛ぶには此上の便宜はないので、岩崎の城兵等は思ひのまゝに、城より打ち出でゝ敵の通路の足場を計り、小丘を前に當て、こゝに鐵砲の組を伏せ置き、靜り返つて待ち受ける。

斯とも知らぬ上方勢の先鋒は、篠木、柏井の農民が東道にて、暗き夜道を進軍して、今や岩崎城の手前三丁ばかりの處に來た。時は四月九日の丑の刻を稍や過ぎて、萬籟總て聲を潜め、草木も睡るとさへいふ頃なれば、彼處に聳る岩崎坂の櫓にも、灯光の漏るゝ矢間もなく、死せるが如く建つてゐる。先陣の森勢は何事もなく通り越して、中陣の池田勢のさしかゝつた時、一發の種子島、火蓋を切つて轟くと思ふ程に、間近き丘の小蔭より筒口揃へて一齊に釣瓶放つた。矢頭を計り、狙ひを定め、意氣を込めて放射した鐵砲とて、一發の空丸なく、立ち登ふ煙の下に、算を亂して射殪されたので、池田勢は狼狽して立ち騷ぐを「鷲破岩崎より討つて出たぞ。引包んで鏖殺にせよ」

此手の大將片桐半左衛門、士卒を勵まして、備へを立て直し、此方よりも鐵砲烈しくうちかけ〳〵煙の下より突いて入る。此方は素より多勢である。精兵である。只一突と突き進む勢ひ、猛烈譬ふるに物なく、丹羽が小勢は其槍下に粉碎せんずばかりであつた。

京城本町三丁目(壽座南隣)
伊藤耳鼻咽喉科醫院
電話三三七七番
醫學士 伊藤應隆

◎安東搭映吟社例會句集

(課題) 柳、水温む、陽炎、雲雀、畑打　青味居黒天選

(秀逸)

井の端に水飾配る柳かな　泉国
露の初音聞かんと山路哉　禾刀
丘下りて露に早き鶯餌哉　泉園
花柳や消元の塀崩れて開く　石水
釣橋を隔てて柳と柳かな　秋屋
青柳や雨に朽ちたる堂一字　志水
畑打つて聖徳碑の示訓かな　秋岡
紙洗ふ小魚の群れや水温む　志水
紙洗ふ乙女三五や水ぬるむ　秋岡
水温む琵琶湖に釣りの舟見る日　一外
溜桶の苔三寸や水ぬるむ　苔水
ぬるむ江に水鳥二つ浮寝哉　泉圀
鶯が上ずゝる幽栞や陽炎す　苔水
陽炎や瀬戸を漕ぎ行く三挺櫓　同人
陽炎や草に起き臥す羊の眼　泉圃
陽炎や古刹の棟の青瓦　久濱
陽炎や隙る古刹の破れ碑　秋閭
陽炎や船の上なる蜃氣樓　禾刀
陽炎や紫そむ田圃道　掬水
陽炎や山寺の登閑にして　志水
ほこ〳〵と陽炎燃ゆや土手の砂　一外
陽炎や餅ほりたる池の跡　掬水
見送りの別れを惜しむ柳哉　石水
小蛙の溢に飛つゝ柳かな　一外

(五客)

陽炎や畷道三里の草の鍵に　一外
漂木に背干す亀や陽炎ひぬ　秋閭
鎌の淡氣巡る宮戸かな　同人
白砂千里綿鮞柳かな　掬水
家鴨は知らぬものなき柳哉　石水

(三光)

(人)箔剝げし仁王の眼陽炎す　陌阡
(地)陽炎や風船球を辻に賣る　泉園
(天)青柳や流れ添ふて水車鳴る　秋畦

追加

夕暮や限りト氷湯矣す　黒天

第二十五回
新學期
小學校卒業生が中學校に入らずして中學校同樣の學力を得らるゝ中學講義錄を看よ
大日本國民中學會
學制改革學年短縮を斷行し講義錄全部を刷新改版し新學期を開講す
講義見本つき規則書無料進呈
會長 正三位 尾崎行雄
名譽
學監 文學博士 遠藤隆吉
理學博士 山內繁雄
學事 文學博士 三宅雄二郎
法學博士 浮田和民
正四位 岡田良平
顧問 法學博士 和田垣謙三
農學博士 新渡戸稻造
第二十五回新學期開講講義錄大改良記念として此際至急入會者には
入會金全免 參考書進呈 會費免除等 大特典の外
獎學金を贈呈す至急申込あれ
東京神田駿河臺 電話本局三〇〇二番 三〇〇四番 三〇〇七番 大日本國民中學會

淋病新藥
ツヨール
發賣元
東京市日本橋區博正町九番地
ツヨール商會
電話本局三五五九番
(說明書無料呈)

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話專用三七三九番

清新の氣分を與ふる
朝のクラブ齒磨
博士の齒磨評
最新最良の
クラブ齒磨出づる迄は……齒磨の多くは頗る粗惡にして殆んご眞の齒磨たる價値なきものなりき。其の海外に輸出せられしもの亦た少からざりしと雖も、中流以上の人士は決して之を使用せず、殆んご文明社會の顧る所こなる能はざりしなり。當時帝國大學教授にして侍醫局御雇たりし有名なるベルツ博士は醫科大學教授其の他諸學者に語つて曰く、『日本の齒磨は海外にも相當輸出されて居るが、品が非常に惡いので、齒の爲に甚だ宜しくない、實に無責任の品である、一體何を原料に使つて居るのか』云々……而も遂に歐米の高級齒磨を凌ぎ內外の醫學者間に最も厚き信用を博せるクラブ齒磨出
品質の優秀
づるに及びて、斯の如き非難は漸く跡を潜め、日本の齒磨は初めて文明社會に其の權威を認めらるゝに至れり。此のクラブ齒磨は二十種の貴重原料を配合し、極めて嚴密なる監査の下に謹製せらるゝものにして、品質の精良全く類を見ず、化學的に齒を強く美しくし、口臭口熱を去り、齒痛を未發に防ぎ、殊に一味清新の氣分を與ふる理想の齒磨にして、名聲海の內外を壓しつゝあり。

商況

大阪株式電

京阪電燈 和歌山紡 合同紡績

大阪三品

仁川米豆取引所

出來高 一萬五千六百石